

第2期子どもをみんなで育む計画 令和4年度事業評価集計(対象事業：全事業)

基本目標	事業番号	事業名	令和3年度	令和4年度
1 子育てを支援する地域づくり	★1	子育て及び家庭教育情報の提供	B	B
	★2	子育て支援総合窓口事業	B	B
	3	子育てガイドブックの発行	B	B
	4	各種相談	B	B
	5	地域子育て相談	B	B
	6	各種相談の連携	B	B
	7	相談担当職員の充実及び適正配置	B	B
	★8	保育所	C	B
	★9	送迎保育ステーション	B	B
	★10	地域子育て支援センター	B	B
	11	保育所の多機能化	C	B
	★12	幼保一元化	B	B
	13	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	B	B
	★14	児童館・児童センター	B	B
	★15	学童クラブ施設	B	B
	16	夏休みの学校開放による「夏休み子ども教室」事業	B	B
	★17	療育施設	B	B
	18	市主催事業における託児サービス	B	B
	19	赤ちゃんほっとスペース	B	B
	★20	ファミリー・サポート・センター	B	B
	21	子育てグループの支援	B	B
	22	児童扶養手当	B	B
	23	児童手当	B	B
	24	特別児童扶養手当	B	B
	25	障害児福祉手当	B	B
	26	子ども医療費の助成	B	B
	27	未熟児養育医療の給付	B	B
	28	ひとり親家庭等の医療費の助成	B	B
	29	保育所保育料負担の適正化	B	B
	30	実費徴収に係る補足給付を行う事業	B	B
	31	特別支援教育就学奨励費補助	B	B
	32	就学援助・奨学金	B	B
	33	入学準備金の貸付	B	B
2 子どもと保護者の健康づくり	★34	妊娠・出産・子育てサポート事業	B	B
	35	母子健康教育	B	B
	★36	乳幼児健康診査	B	B
	37	母子健康相談	B	B
	38	母子訪問指導	B	B
	39	健診後のフォロー体制づくり	B	B
	40	予防接種	B	B
	★41	養育支援訪問事業・産褥期ヘルパーの情報提供	B	B
	42	食に関する講座・体験学習	B	B
	43	食育指導・情報提供	B	B
	44	乳幼児の食生活指導	B	B
	45	栄養相談・栄養指導	B	B
	46	思春期相談体制の充実	B	B
47	学校保健と地域保健の連携強化	B	B	
48	性と生の教育の充実	事業番号69に統合	事業番号69に統合	
49	救急医療体制の充実	B	B	
	50	こどもの権利条約・児童憲章の周知・啓発	B	B
	51	指導者の育成	B	B
	★52	相談・カウンセリング	B	B
	53	小・中学生職場体験学習	B	B
	54	保育士研修	B	B
	55	子育て支援員研修	B	B
	★56	幼児教育に関する研究・研修	B	B

基本目標	事業番号	事業名	令和3年度	令和4年度	
3	子どもが健やかに成長できる環境づくり	57	心の教育	B	B
		58	環境教育	B	B
		59	国際社会への対応	B	B
		60	情報化社会への対応	B	B
		★61	特別支援教育	B	B
		62	世代間交流	C	B
		63	体験学習の推進	B	B
		★64	絵本のふれあい体験の支援	B	B
		65	文化・芸術活動の支援	B	B
		66	各種スポーツ・レクリエーション大会・教室	B	B
		67	学童クラブと保育所の交流	B	B
		68	私立幼稚園への支援	B	B
		★69	家庭教育講座	B	B
		70	子育てサロン	B	B
		71	地域子ども活動の支援	B	B
		72	ボランティアの育成・推進	B	A
		73	少年スポーツ団体の育成	B	B
		74	児童館・児童センターの活用	B	B
		75	学校体育施設の利用	B	B
		76	青少年相談	B	B
		77	街頭補導活動	B	B
		78	有害図書等の調査	事業番号79に統合	事業番号79に統合
		79	青少年ふれあい運動	B	B
		80	青少年主張大会	B	B
81	非行防止活動等ネットワークづくり	B	B		
82	青少年育成会議への活動支援	事業番号71に統合	事業番号71に統合		
4	子どもの安全を守る生活環境・体制づくり	83	歩道の整備	B	B
		84	公共施設の整備	B	B
		★85	公園の整備・充実	B	B
		86	駅施設の整備	B	C
		87	住環境の整備	B	B
		★88	防犯対策の充実	B	B
		89	防犯灯の整備	B	B
		90	通学区内の交通安全施設整備	B	B
		91	交通安全教室の充実	B	B
		92	チャイルドシートの貸出	B	B
		93	交通安全教室の普及・啓発	B	B
		★94	関係機関、団体との情報交換	B	B
		95	安全マップ等の作成	B	B
		96	自主防犯活動の支援	B	B
		★97	安全管理の促進	B	B
		98	防犯体制の充実	B	B
		99	防犯に関する普及啓発活動	B	B
		100	保護者・地域との連携による防犯活動	B	B
5	男女がともに仕事と子育てを両立できる環境づくり	101	就労環境改善への支援	B	B
		102	就職情報の提供	B	B
		103	就職・再就職のための職業研修	B	B
		104	男女共同参画社会づくり	B	B
		105	育児への父親の参加	B	B
		★106	延長保育	B	B
		107	小規模保育	C	B
		108	一時保育	B	B
		109	産休明け保育	B	B
		★110	病児・病後児保育	B	B
		111	休日保育	D	D
		★112	障害児保育	D	B
		★113	学童クラブの活用	B	B
		114	子育て短期支援（ショートステイ・トワイライトステイ）	B	B

基本目標	事業番号	事業名	令和3年度	令和4年度
6 保護が必要な子どもへの支援体制づくり	★115	子ども家庭支援拠点（支援拠点事業）	B	B
	116	児童虐待防止の啓発	B	B
	★117	虐待予防と早期発見	B	B
	★118	虐待に関する相談の充実	B	B
	★119	児童虐待防止のための連携強化	B	B
	★120	社会的養育の推進	B	B
	121	ひとり親家庭相談	B	B
	122	母子家庭等就労促進費用の助成	B	B
	123	ひとり親家庭等生活向上事業	B	B
	124	相談体制の充実	B	B
	125	就学相談・指導	B	B
	★126	療育指導・機能訓練	B	C
	127	在宅介護サービス	B	B
	128	特別支援教育の推進	B	B
★129	居宅訪問型児童発達支援	D	C	
	130	子どもの貧困対策	B	B

### ■事業評価シートの見方

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										① 令和4年度評価	
★10	地域子育て支援センター(子ども家庭課)	職員の資質向上を図り、子育てに関する相談、情報の提供、子育てグループの支援や各種サービスの提供など、子育て世帯へのサポートを充実していきます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
子育て支援センター数		11	11	11	11	11	利用者数		34,770	48,337	↑	↑	↑
R4年度の現状	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されてきたことから、令和3年度と比較して利用者数が増加しました。また、地域子育て支援センターによる出張ひろば、土曜日開館、地域支援イベント等の取り組みについて実施し、子育て世帯のサポートを行いました。また、担当職員の自己評価やLINE等による利用者アンケートを実施しました。						課題解決のための改善策	地域子育て支援センター職員の質の向上のため、市主催で研修を年3回開催し、地域子育て支援センター全体の質が下がらないようにします。					
これまでの課題	地域子育て支援センターに従事する職員の異動等もあるため、職員の質が下がらないようにする必要があります。						R5からR6年度の取り組み	機会を捉えて、現地調査を実施します。また、引き続き担当職員の自己評価やLINE等による利用者アンケートも実施します。					

#### ①評価区分

A：B評価+成果を向上させる改善・改良を施した（90～100%）

B：達成出来た（80～89%）←通常どおり事業を遂行した場合

C：一部達成出来た（一部達成出来なかった）（80%未満）

D：達成出来なかった（未実施・廃止・統合など）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、事業内容を変更して実施した場合は、B評価（通常どおり事業を遂行した場合）に該当します。

【例】対面でのイベント実施を取り止め、オンラインを活用し実施した

#### ②活動指標・成果指標

数値目標の設定になじまない、設定できない事業は指標を矢印（↑（上昇）、↓（下降）、→（現状維持））としています。

基本目標1 子育てを支援する地域づくり														
(1)情報提供・相談体制の充実														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価			
★1	子育て及び家庭教育情報の提供 (子ども家庭課・生涯学習課・公民館)	<p>【子ども家庭課】子育てに関する各種情報・講座・教室の案内等の情報を、広報や情報誌、ホームページ等での確に提供できるよう努めます。(流山市市民便利帳(日本語・外国語)・ママフレ・児童館・児童センター活動パンフレット)</p> <p>【生涯学習課】子ども・親子向けイベントを含む各種講座・教室の案内等の情報を、広報や情報誌、ホームページ等での確に提供できるよう努めます。</p> <p>【公民館】若い親が情報ツールとすることが多い、携帯電話のインターネット機能を駆使した情報発信などを視野に、さまざまなメディアを使って、よりの確かつ迅速に子育て情報を提供します。</p>									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
R4年度の現状							課題解決のための改善策							
R4年度の現状		令和3年度から、LINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」を開設し、また、従来からのママフレや子育てサイトのホームページ等も活用しながら、子育てに関する各種情報の提供を行っています。【子ども家庭課】生涯学習センター及びおたかの森ホールの指定管理者が主催する「子ども・親子向けイベント」の情報を、広報ながれやま及び市ホームページに掲載し、広く市民に周知しました。また、市主催以外のイベント等についても、チラシの配架やポスター掲示を行いました。【生涯学習課】令和3年度同様、新型コロナウイルス感染症対策により、事前申込み制とし、会議室等の収容人数を定員の半数にして実施しました。子育てコンサート等の子育て関連事業の広報活動を行う際、広報やホームページ等での情報提供だけではなく、LINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」を活用し情報提供を行いました。【公民館】				課題解決のための改善策				LINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」の登録者数を増やすために、窓口での案内等の強化に努めます。また他課に対し、LINEの周知をはかり、利用を促していきます。【子ども家庭課】引き続き、広く市民に情報提供します。【生涯学習課】引き続き、的確な情報提供に努めてまいります。また、参加申込みをお断りだけではなく、代替案が出せるよう講座の充実に努めます。【公民館】				
これまでの課題		LINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」の登録者数を増やしていくことと、子ども家庭課だけの情報ではなく、他課も含め、子育てに関する情報発信等を行っていく必要があります。【子ども家庭課】新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を半数とした事により参加申込みをお断りする場合もありました。【公民館】				R5からR6年度の取り組み				引き続き、LINEやホームページ等の情報発信ツールを活用し、必要な方への確な情報提供に努めます。【子ども家庭課】「子ども・親子向けイベント」の開催情報を、広報ながれやま及び市ホームページ等に掲載し、広く市民に情報提供します。【生涯学習課】新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、サロンや講座等の開催回数の増加に努めます。【公民館】				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価			
★2	子育て支援総合窓口事業 (子ども家庭課)	子どもや保護者が幼稚園や保育所、認定こども園等の施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるような、情報の収集・提供を行い、必要に応じて相談・助言をするとともに、関係機関との連絡調整を行います。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
相談対応件数(延べ)		1,197	1,557	↑	↑	↑								
R4年度の現状		窓口や電話相談だけでなく、オンライン相談を活用し、子どもや保護者が状況に応じた幼稚園・保育園等の施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるような、情報の収集や提供、助言を行いました。また、相談内容によっては、関係機関と連絡調整し、適切な支援部署・機関につなぎました。				課題解決のための改善策				おやこあんしん相談窓口について、LINEやホームページ等を活用し、周知をはかっています。				
これまでの課題		おやこあんしん相談窓口について、転入者等を含め、窓口の案内を周知する必要があります。				R5からR6年度の取り組み				引き続き、窓口や電話相談だけでなく、オンライン相談を活用し、子どもや保護者が状況に応じた幼稚園・保育園等の施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるような、情報の収集や提供、助言を行います。また、関係機関と連絡調整し、適切な支援部署・機関につなぎます。				
(2)地域における子育て支援サービスの充実														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価			
3	子育てガイドブックの発行 (子ども家庭課)	子育てに関する様々な情報を提供し、子育て家庭を支援するため、「子育てガイドブック」を発行します。また、「孫育てガイドブック」を発行し、祖父母世代にパパ・ママ世代の子育てについて理解を深めてもらえる機会の創出を図ります。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
ガイドブック配布数		7,495	2,300	→	↑	→								
R4年度の現状		子育てに関する様々な情報を提供するため、転入者等に、流山市の地図と一緒に「子育てガイドブック」を配布しました。また、祖父母世代の方に、「孫育てガイドブック」を配布しています。なお、ガイドブックは2年に一度の更新のため、令和4年度は転入者等への配布になるため、実績数が少なくなっています。				課題解決のための改善策				「子育てガイドブック」及び「孫育てガイドブック」について、LINEやホームページ等を活用し、周知をはかっています。				
これまでの課題		転入者等を含め、子育て情報を必要とする方に配布する必要があります。				R5からR6年度の取り組み				「子育てガイドブック」及び「孫育てガイドブック」を、子育て支援センターや子育て支援員研修の受講生などに広く配布することで、子育てや子育てに関する情報の提供に努めます。令和5年度は、2年に1回の更新時期であるため、「子育てガイドブック」及び「孫育てガイドブック」を更新します。				

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和4年度評価
4	各種相談(子ども家庭課・公民館・指導課・児童発達支援センター)	<p>【子ども家庭課】児童虐待に関する相談を通じて、関係機関と連携を図りながらその防止に努めます。</p> <p>【公民館】子育て中のママのニーズを的確にとらえた子育てママのセミナー開催やコミュニティ形成ができるセミナーを実施します。</p> <p>【指導課】スクールカウンセラーを配置し、電話相談や面談、学校訪問による保護者や児童生徒、教職員の相談体制の充実に努めます。</p> <p>【児童発達支援センター】乳幼児の発達に関する保護者の相談内容に応じて、相談員や専門職(心理士、言語聴覚士、作業療法士など)が電話や来所による相談、専門職による検査や助言を行います。</p>	A・B・C・D

主な活動指標(事業実績)	R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
子ども発達相談の申し込みから面接日までの平均日数【児童発達支援センター】	45.4	52	30	→	→	子ども発達相談(延べ相談件数)【児童発達支援センター】	1,057	1,162	1,050	→	→
子育てママのセミナー実施回数【公民館】	18	18	18	18	18	延べ参加者数【公民館】	177	176	→	↑	↑
スクールカウンセラー配置数【指導課】	9	10	10	↑	↑	教育相談件数【指導課】	2,034	1,902	→	→	→

R4年度の現状	<p>子育ての悩みや児童虐待などに関する相談に適切に対応できるよう相談対応職員のスキルアップを図ると共に、状況に応じてより専門的な機関と連携し対応しました。【子ども家庭課】令和3年度同様、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、収容人数を定員の半数にし実施しました。【公民館】スクールカウンセラーを1名増員し、児童生徒及び保護者が抱えるなやみに対して、電話相談、来所相談、学校への訪問相談の形式で実施しました。【指導課】相談ニーズの増加に伴い待機期間があるため、初回面接時に結果が届くまでの今後の見通しやご家庭での対応方法などをお伝えしました。また公共の交通機関を利用する方においては、おたかの森駅近くの業務委託先の会場を案内し、来所時の負担を軽減できるようにしました。【児童発達支援センター】</p>	課題解決のための改善策	<p>相談対応職員のスキルアップ研修等への積極的な参加など専門性の向上に努め、児童や家庭の状況に即した相談対応を行います。【子ども家庭課】参加者数が少ない地域には、チラシやLINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」を活用し子育て関連の事業の情報提供を行っていきます。【公民館】スクールカウンセラーと保護者の面談内容を、保護者の同意のうえで、より速やかかつ正確に伝えるようにします。【指導課】新規相談の申し込みをホームページからできるようにすることで、保護者のスムーズな相談に努めます。また、感染症対策で利用できなかった相談スペースについては空調修繕とパーテーションでスペースを区切り利用できる枠を増やします。【児童発達支援センター】</p>
これまでの課題	<p>児童や保護者の家庭背景や課題が複雑多岐にわたるため、個々の状況に即した相談対応が必要です。【子ども家庭課】各公民館、各センターで実施する子育てママのセミナーにて、実施会場によっては申込者数が少ない地域もありました。【公民館】相談内容が多岐に渡っており、主訴の好転を目指すには学校との連携が不可欠です。カウンセリングを通して話し合った支援の方法が、学校の実態に合わせて行われることが必要です。【指導課】新規相談の申込から初回面接までに平均すると52日を要していますが、申込書作成後も時間をかけて提出を悩まれる方、お仕事の都合等で先の日程の予約を希望される方もいるため、引き続き保護者の気持ちや希望に寄り添った上での予約対応を行う必要があります。また、新型コロナウイルス感染症の影響で利用できない相談スペースがあり、予約枠を制限することもありました。【児童発達支援センター】</p>	R5からR6年度の取り組み	<p>児童虐待防止のため、個別の相談対応だけでなく、グループ活動を通じた相談支援活動を継続して実施します。【子ども家庭課】情報が行き届いていない地域にも、子育て関連の事業の情報提供及び講座内容の充実を図ります。【公民館】新規相談の申し込みから初回の面談につなげるまでの期間をできる限り短縮し、より速やかに相談につなげるようにします。また、学校における教育相談体制の充実に向けて、学校と連携を図ると共に研修を充実させていきます。【指導課】通常の相談業務を継続しながら、巡回相談、保育所等訪問支援など、関係機関と連携を図り、地域の中核的な療育支援施設としての役割・機能に努めます。【児童発達支援センター】</p>

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和4年度評価
5	地域子育て相談(子ども家庭課・保育課)	<p>【子ども家庭課】研修を通して各地域子育て支援センターの相談体制の充実に努めます。</p> <p>【保育課】園開放を行うことで、より身近な相談場所としての機能を果たすことができ、保護者の子育ての不安解消につながることから事業を継続していきます。</p>	A・B・C・D

主な活動指標(事業実績)	R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標

R4年度の現状	<p>子育ての悩みなどを気軽に相談できるよう、地域子育て支援センターを核として相談体制を図るため、地域子育て支援センターの職員を対象に研修を行いました。また、担当職員の自己評価やLINE等による利用者アンケートを実施しました。【子ども家庭課】公立保育園では年10回の園開放を行いました。【保育課】</p>	課題解決のための改善策	<p>地域子育て支援センター職員の質の向上のため、市主催で研修を年3回開催したり、アンケート等を実施して、子育て支援センター全体の質が下がらないようにします。【子ども家庭課】参加者を増やすため周知方法を検討します。【保育課】</p>
これまでの課題	<p>地域子育て支援センターに従事する職員の異動もあるため、職員の質が下がらないようにする必要があります。【子ども家庭課】コロナ禍で園開放を実施していなかったため参加者が少ない月がありました。【保育課】</p>	R5からR6年度の取り組み	<p>引き続き、研修やアンケート等を通して地域子育て支援センターにおける子育て相談体制の充実に努め、保護者の育児に関する不安の軽減に努めます。【子ども家庭課】令和4年度に引き続き園開放を実施し、保護者の相談を受けられるようにします。【保育課】</p>

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標					令和4年度評価						
6	各種相談の連携(子ども家庭課・児童発達支援センター・健康増進課・保育課・教育総務課)	<p>【子ども家庭課】各種相談窓口をはじめ、保健所、児童相談所、民生・児童委員、学校や保育所、学童クラブなど関係機関等との連携の強化を図ります。また、関係機関によるケース検討会議を開催します。</p> <p>【児童発達支援センター】発達に心配のある子どもや保護者に対し、子どものよりよい支援につなげられるよう療育支援会議をはじめ各種会議等を通じ、保健センター、保育所、幼児教育支援センター、教育委員会、児童館、子ども家庭課、医療機関などの関係機関と連携を図ります。</p> <p>【健康増進課】各種相談窓口と松戸健康福祉センター(保健所)、児童相談所、民生・児童委員、地域子育て支援センターや保育所、学童クラブなど関係機関等との連携の強化を図ります。また、関係機関によるケース検討会議を開催します。 ・ケース検討部会(定例会、臨時検討会議)</p> <p>【保育課】公立保育所所長会議、民間保育所協議会等を活用して、情報を共有し、緊急時に速やかに対応できるよう関係機関との連携を強化します。</p> <p>【教育総務課】学童クラブ運営法人連絡協議会及び小学校・学童クラブ・教育総務課で開催する学童クラブに関する三者協議を活用して情報を共有し、児童の健全な育成が図られるよう関係機関との連携を強化します。</p>					A・B・C・D						
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
療育支援会議(年間回数) 【児童発達支援センター】		24	24	24	→	→	療育支援方針(年間件数) 【児童発達支援センター】		320	370	350	→	→
検討回数 【健康増進課】		11	12	12	12	12	関係課との連携強化 【健康増進課】		↑	↑	↑	↑	↑
三者協議開催回数【教育総務課】		34	34	34	34	34							
R4年度の現状	関係機関との個別支援会議(要保護児童対策地域協議会)を63回開催しました。【子ども家庭課】療育支援会議をはじめ各種会議をおし、関係機関から情報を得ながらお子さんの発達状況について確認、支援について検討をしていきました。【児童発達支援センター】必要に応じ、ケース会議に参加しました。子ども家庭課との検討会は、支援の課題や役割を共有し、連携の強化を図りました。【健康増進課】公立保育所所長会議や民間保育所協議会等において情報共有を図りました。【保育課】学童クラブ運営法人連絡協議会を年6回開催しました。学童クラブに関する三者協議を、小学校区ごとに年2回開催しました。【教育総務課】	課題解決のための改善策					関係機関の会議等に積極的に参加し、要保護児童対策地域協議会の活動の周知を図り、関係機関との連携を強化します。【子ども家庭課】関係機関と多角的な意見や情報を踏まえ、地域資源の確認をし手厚いケースワークに繋げていきます。【児童発達支援センター】必要な時に必要な機関と連携が取れるように、日頃から連携が取れる関係づくりの体制構築に努めました。また、緊急時には、電話連絡で情報共有や、役割分担を確認し、支援を連携して実施できるよう工夫しました。また、子ども家庭課との検討会を効率的に実施できるよう実施方法を見直し、時間短縮に努めました。【健康増進課】学童クラブごとに抱える問題は様々であり、教育総務課、学校、法人で問題について共有し、課題解決のための話し合いの場を持つことが重要です。【教育総務課】						
これまでの課題	要保護児童対策地域協議会の機能や役割に関する周知が不十分で、関係機関との連携に時間を要するケースがあります。【子ども家庭課】相談ニーズが多岐にわたり、療育支援会議の中で他機関と連携して支援を検討するケースが年々増加しています。【児童発達支援センター】支援が必要なケースが増加しているため、検討・共有に時間を要しています。【健康増進課】学童クラブの利用者が増加しており、学童クラブの施設整備や学童クラブを運営するための様々な課題を抱えています。【教育総務課】	R5からR6年度の取り組み					各部署の相談窓口、児童相談所、警察、学校等関係機関との連携の強化を図ります。また、要保護児童対策地域協議会の機能や役割の継続的な周知に努めます。【子ども家庭課】引き続き、関係機関からの多角的な意見を基に、お子さんの発達によりよい支援方針の決定に努めます。【児童発達支援センター】より身近な地域で支援を実施できるよう、引き続き関係機関との連携強化に努めます。【健康増進課】引き続き公立保育所所長会議や民間保育所協議会等において情報共有をはかり、保育における課題を共通認識できるようにします。【保育課】引き続き、学童クラブ運営法人連絡協議会や学童クラブに関する三者協議を実施するほか、情報を各課と共有し、緊急時に速やかな対応が出来るよう連携強化に努めます。【教育総務課】						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標					令和4年度評価						
7	相談担当職員の充実及び適正配置(子ども家庭課・児童発達支援センター・健康増進課)	<p>【子ども家庭課】相談担当職員のスキルアップを図るため、研修会等に積極的に参加していきます。また、担当職員の適正配置についても相談件数の増加を加味し、検討していきます。</p> <p>【児童発達支援センター】障害児相談支援を利用希望している方の受け入れができるよう、適正配置に努めます。</p> <p>【健康増進課】保護者の子育て相談に的確に対応できるよう、相談担当職員(常勤職員だけでなく、非常勤職員も含め)の知識・能力の向上を図るとともに、職員の適正配置に努めます。</p>					A・B・C・D						
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
相談支援従事者初任者研修修了者数 【児童発達支援センター】		2	0	1	2	→							
養育支援家庭訪問事業等研修会開催数 【健康増進課】		1	1	1	1	1	養育支援家庭訪問事業等研修会参加人数【健康増進課】		26	28	30	→	→
R4年度の現状	県等が主催する研修に積極的に参加しスキルアップを図ると共に、家庭児童相談員(会計年度任用職員)を増員しました。【子ども家庭課】療育を利用するお子さんや事業所の増加に伴い、障害児相談支援のニーズが高まっています。【児童発達支援センター】各事業終了後にカンファレンスを行い、情報共有と対象者の支援検討を行いました。また、職員及び非常勤職員等を対象とした子育て支援に関する研修会を企画開催しています。【健康増進課】	課題解決のための改善策					増加する相談に迅速かつ適正に対応できるよう専門職の更なる増員配置に努めます。【子ども家庭課】相談支援事業所と連携を図り、受け入れ先の情報提供を行いました。引き続き利用者のニーズに応えられるよう、医療的ケア児コーディネーター養成研修などをとおし、専門的な知識を基に相談にかかわるよう努めます。【児童発達支援センター】公認心理士のアドバイスを受けながら振り返りを行う事例検討や、県や外部研修等を受け、日ごろの支援の振り返りと最新の情報及び知識の更新や相談技術の向上に努めています。【健康増進課】						
これまでの課題	児童虐待を含む相談件数が毎年増加しており、ケースワーカー1人当たりの相談対応件数が増加しています。【子ども家庭課】職員1人当たり毎月受け入れ件数に上限があるため、すぐ受け入れできないこともありました。【児童発達支援センター】転入数や出生数の増加等により、相談件数が増加しているとともに、様々な背景や複雑な問題を抱えるケースも増えたことから、保護者からの相談内容も多様となり、様々な相談内容に対応できる知識とスキルが必要となってきています。【健康増進課】	R5からR6年度の取り組み					相談担当職員のスキルアップを図るため、研修会等に積極的に参加していきます。また、専門職を含む相談担当職員の適正配置についても検討していきます。【子ども家庭課】地域における中核的な療育支援施設としての役割・機能を担うよう引き続き相談業務の充実を図ります。【児童発達支援センター】引き続き、現在のトピックスや様々な相談内容に対応した研修等を企画・開催し、また、積極的に研修等の参加に努めます。【健康増進課】						

(2)地域における子育て支援サービスの充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和4年度評価			
★8	保育所 (子ども家庭課・保育課)	待機児童数ゼロを達成するため、認可保育所等を整備します。								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
認可保育所等整備数(定員数(3.31時点))		8,539	8,558	—	—	—	待機児童数※翌年度4月1日時点(人)		3	0	0	0	0
認可保育所等施設数(3.31時点)		100	102	—	—	—							
R4年度の現状	令和4年度は、認可保育所を新規に2施設(定員120人増)及び既存施設1施設(定員15人増)の整備及び保護者のニーズに合った入所調整に努め、令和5年4月1日現在、国基準の待機児童数はゼロとなりました。【子ども家庭課】					課題解決のための改善策		待機児童解消のために、保護者のニーズに合った入所調整を行うとともに、必要に応じて、新たに認可保育所の整備を行います。【子ども家庭課】					
これまでの課題	令和5年4月1日時点で、国基準の待機児童がゼロとなっていますが、人口が増加に即した対応が必要です。【子ども家庭課】					R5からR6年度の取り組み		保育所の入所申込み状況等から、必要数の認可保育所の整備を行い、また、引き続き、保護者のニーズに合った入所調整に努めます。【子ども家庭課・保育課】					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和4年度評価			
★9	送迎保育ステーション (保育課)	送迎保育ステーションを利用し、市内の保育所まで送迎することにより、待機児童の解消や保育所利用者の利便性の向上を図ります。								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
送迎保育ステーションの設置数(か所)		2	2	→	→	→	延べ利用数(人)		13,546	14,685	→	→	→
送迎バスの台数		8	8	→	7	7	待機児童数※翌年度4月1日時点(人)		3	0	0	0	0
R4年度の現状	利用者数は令和3年度よりは増加したものの保育園の開設やコロナの影響で低調でした。					課題解決のための改善策		令和5年6月末までに、国基準の置き去り防止を支援する安全装置を送迎バス全てに設置します。					
これまでの課題	対象園が増えているため速やかな送迎を行うこと及び他市で発生した児童の置き去り事故が発生しないよう対策を施すことが課題です。					R5からR6年度の取り組み		新園の開設等による需要の低下を踏まえ事業のあり方について検討します。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和4年度評価			
★10	地域子育て支援センター (子ども家庭課)	職員の資質向上を図り、子育てに関する相談、情報の提供、子育てグループの支援や各種サービスの提供など、子育て世帯へのサポートを充実していきます。								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
子育て支援センター数		11	11	11	11	11	利用者数		34,770	48,337	↑	↑	↑
R4年度の現状	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されてきたことから、令和3年度と比較して利用者数が増加しました。また、地域子育て支援センターによる出張ひろば、土曜日開設、地域支援イベント等の取り組みについて実施し、子育て世帯のサポートを行いました。また、担当職員の自己評価やLINE等による利用者アンケートを実施しました。					課題解決のための改善策		地域子育て支援センター職員の高質の向上のため、市主催で研修を年3回開催し、地域子育て支援センター全体の質が下がらないようにします。					
これまでの課題	地域子育て支援センターに従事する職員の異動等もあるため、職員の質が下がらないようにする必要があります。					R5からR6年度の取り組み		機会を捉えて、現地調査を実施します。また、引き続き担当職員の自己評価やLINE等による利用者アンケートも実施します。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和4年度評価			
11	保育所の多機能化(保育課)	身近な場所で子育てに関する相談や育児講座、子育て中の親の交流などを行う拠点として、園開放の実施等、保育所等の多機能化を推進します。								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
R4年度の現状		公立保育園では年10回の園開放を行いました。					課題解決のための改善策		参加者を増やすため周知方法を検討します。				
これまでの課題	コロナ禍で園開放を実施していなかったため参加者が少ない月がありました。					R5からR6年度の取り組み		令和4年度に引き続き園開放を実施し、保護者の相談を受けられるようにします。					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
★12	幼保一元化(子ども家庭課・指導課)	【子ども家庭課】教育と保育の両方のニーズに対応できるよう、今後も認定こども園の整備を進めます。 【指導課】幼児教育支援センターにおいて、今後も国の動向を見ながら、幼保小関連教育の研究を進めています。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標		
保幼小関連教育研究会開催回数		3	3	3	3	3	保幼小関連教育研究会参加延べ人数			214	276	215	215	215		
R4年度の現状	「子どもの発達や学びをつなごう～連携から接続へ～」をテーマに大学教授を招聘して講演会を行うことで、幼児教育と小学校教育の相互の理解を深めることができました。また、幼児教育において育みたい資質・能力について園種を超えて確認し合うことができました。【指導課】					課題解決のための改善策		地域ごとにグループ編成し、グループ協議を行ったり、小学校見学会や幼保見学会を通して幼児教育から小学校教育の接続について実際の指導場面を見合ったりすることで、研修を深めています。【指導課】								
これまでの課題	幼稚園、保育所(園)、こども園のそれぞれの取り組みについて情報を共有したり、小学校との接続について話し合ったりする中で、職員同士の連携を深めていく必要があります。【指導課】					R5からR6年度の取り組み		より多くの先生方が幼保小接続に対する重要性について理解を深め、円滑な接続に向けた取組が進められるように、接続期の保育や教育について研究・研修を進めていきます。【指導課】								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
13	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業(子ども家庭課)	特定教育・保育施設等への民間事業者の参入、多様な事業者の能力を活用した設置・運営を促します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標		
民間事業者による認可保育所整備数		4	1	→	→	→										
民間事業者による小規模保育事業所整備数		1	0	→	→	→										
R4年度の現状	幅広く保育事業者の参入を促すため、認可保育所および小規模保育事業所の整備にあたり公募を実施しました。また、国の補助金制度を活用し保育施設の整備費に対する補助を行うことにより、多くの事業者が参入できる環境づくりを行いました。					課題解決のための改善策		市内の保育需要の状況を注視しながら、多様な事業者が参入できる環境づくりを行います。								
これまでの課題	保育施設の整備数は減少傾向であることに伴い、多様な事業者が参入できる環境が限られています。					R5からR6年度の取り組み		多様な事業者が参入できる環境づくりを行い、能力を活用した設置・運営を促します。								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
★14	児童館・児童センター(子ども家庭課)	市内児童館・児童センターにおいて、地域の子育て活動の拠点施設となるような保護者・乳幼児の子育てサポートするための事業を実施します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標		
(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備工事進捗率(%)		67	100	100	—	—	市内8施設利用者アンケート(%) 「施設を利用することで子育てを支えられていると感じる:あてはまる・だいたいあてはまる」平均			98.5	98.2	↑	↑	↑		
R4年度の現状	既存児童館・児童センターでは、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、幼児のグループ活動による友達づくりのサポートや子育て相談に応じ、学童には、ボールあそびや卓球、大型ブロック、マンカラ、カードゲーム、読書など多様な遊びの場を提供しました。また、オンラインで児童館の取り組みを紹介したり、いつでも利用者のそばにあり続ける活動にも注力しました。 (仮称)南流山地域図書館・児童センター整備工事では、工事が完了し、令和4年12月1日に南流山地域図書館・南流山児童センターとして、開館しました。					課題解決のための改善策		既存児童館・児童センターにおける各種イベント等の再開に向け、参加方法や活動時の参加者の動きなどの検討を重ね対応していきます。								
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催が難しかった各種イベント等について再開が適うよう検討を進める必要があります。					R5からR6年度の取り組み		新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、感染症対策は緩和されますが、児童館・児童センターでは、必要に応じて手指消毒や検温、施設内換気を実施し、また、各種イベント等の再開、充実に努めています。また、子どもにも楽しく利用してもらえることはもちろんのこと、子ども自身が安心して自分の気持ちを話せるような居場所となるよう引き続き運営していきます。								



番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
★15	学童クラブ施設 (教育総務課)	放課後の留守家庭の児童の健全な育成を図るため、学童クラブの充実を図ります。 学童需要が大幅に増加する中で、安全な育成支援が提供できる環境を整備していきます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	
整備後の定員数(人)		3,240	3,240	3,240	3,680	3,680	待機児童数(3月末)(人)				0	0	0	0	0	
整備後の施設数(施設)		37	37	37	39	39										
R4年度の現状	令和6年度開設の市野谷小学校区学童クラブと南流山第二小学校区学童クラブの開設準備を進めました。また、学童クラブの設置に向け条例の変更を行いました。					課題解決のための改善策				利用児童者数の増加が予想される地区において、児童数の推計をもとにあらかじめ学童クラブを整備することで、待機児童が出ないようにします。						
これまでの課題	学童クラブの利用児童数が増える中で、待機児童が発生しないよう学童クラブの整備を行う必要があります。					R5からR6年度の取り組み				市野谷小学校区学童クラブ及び南流山第二小学校区学童クラブの開設に向けて、施設整備や備品の購入等を行います。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
16	夏休みの学校開放による「夏休み子ども教室」事業(公民館)	学校の夏休み期間、保護者が就労等で家を留守にする家庭の小学生に対して、学校施設の一部を使用し、夏休みの子どもの居場所として提供します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	
開催回数		26	26	26	—	—	延べ参加者数				1,777	1,413	↑	—	—	
R4年度の現状	令和3年度同様、2校(小山小学校、南流山小学校)で開催し、参加費を事前に徴収しました。					課題解決のための改善策				広報を活用し、広くスタッフの人員募集の確保に努めました。						
これまでの課題	スタッフの人員確保が課題でした。					R5からR6年度の取り組み				※R4年度を以て事業終了につき記載なし。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
★17	療育施設 (児童発達支援センター)	障害のある児童の自立支援のため、児童発達支援センターの充実を図ります。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	
つばさ学園 実人数		33	32	35	↑	↑	つばさ学園 延べ利用人数				3,676	4,117	4,200	↑	↑	
児童デイつばさ 実人数		57	52	55	↑	↑	児童デイつばさ 延べ利用人数				2,111	2,429	2,656	↑	↑	
R4年度の現状	発達支援計画書及び個別支援計画書に基づき園児の支援に努めました。感染症対策のための分散登園を解除し、通常登園での支援を実施することができました。保護者参加の行事においては昨年度に引き続き、感染症対策を講じながらの実施となりました。					課題解決のための改善策				限られた環境の中でも、継続した療育が行えるよう、支援・行事の内容や実施方法を職員間で検討し工夫していきます。また、コロナ禍以降の感染症対策についても、引き続き他施設や保護者との連携を図ります。						
これまでの課題	新型コロナウイルスの5類移行に伴い、これまでの制限が緩和される中、利用を希望する園児は増加傾向にあります。集団生活の中では、今後も様々な感染症の流行が予想されるため、園児の安全を守りながら療育の提供を行うよう引き続き、支援方法や行事について、内容を検討する必要があります。					R5からR6年度の取り組み				園児の健康を第一に、園児の発達、成長に必要な支援の充実を図っていきます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
18	市主催事業における託児サービス(公民館・子ども家庭課)	【公民館】安全な託児を心がけ、子育て中の保護者が安心して講座へ参加できるよう努めます。 【子ども家庭課】乳幼児がいる親が、各種講座等、市の主催する事業へ参加できるよう、一時保育等の託児サービスを推進します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	
保育ボランティア派遣件数【子ども家庭課】		12	27	↑	↑	↑										
実施回数【公民館】		1	5	↑	↑	↑	保育利用乳児数【公民館】				3	9	↑	↑	↑	
R4年度の現状	令和3年度は新型コロナウイルス感染症により保育利用者が少なかったが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、実施回数を増やし保育利用乳幼児数の増加につながりました。【公民館】保育ボランティアの派遣を通して、子育て中の保護者が市の主催事業へ参加できるように支援しました。また、保育ボランティアの研修を実施しました。【子ども家庭課】					課題解決のための改善策				新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、保育利用乳幼児数の増加が出来るよう、講座を企画していきます。【公民館】保育ボランティアの質の向上のため、研修を開催したり、情報共有等を行います。【子ども家庭課】						
これまでの課題	令和3年度に比べ保育利用乳幼児数は増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度も保育利用乳幼児数が伸び悩んでいる点です。【公民館】安心して講座へ参加できるようにするため、保育ボランティアの質を向上する必要があります。【子ども家庭課】					R5からR6年度の取り組み				新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、保育利用乳幼児数の増加に努めます。【公民館】引き続き、市の主催する各種講座に、どなたでも参加しやすくするように、開催場所において、一時保育等の託児サービスを推進します。【子ども家庭課】						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
19	赤ちゃんほっとスペース(子ども家庭課)	安心して赤ちゃんと外出できるよう、オムツ替えや授乳等が気軽にできる場所(施設)を提供するため、保育所や児童館・児童センターなどの公共施設を中心に「赤ちゃんほっとスペース」を設置します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
赤ちゃんほっとスペース設置数		65	66	↑	↑	↑								
R4年度の現状	新たな赤ちゃんほっとスペースとして、おおたかの森地区に1施設登録しました。					課題解決のための改善策	新規施設が開設する際には、赤ちゃんほっとスペースの設置に向けて働きかけを行います。利用促進を図るため、更なる周知を行います。							
これまでの課題	登録施設の拡充のほか、赤ちゃんほっとスペースの利用促進を図るため更なる周知を行う必要があります。					R5からR6年度の取り組み	外出する親子にやさしい街となるよう引き続き、新たな赤ちゃんほっとスペースの設置を進めていきます。							

(3)子育て支援のネットワークづくり														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価			
★20	ファミリー・サポート・センター(子ども家庭課)	仕事と育児の両立のため、育児を必要とする市民が育児を提供できる市民から、子育て支援を受けられるファミリー・サポート・センター事業を推進します。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
提供会員数及び両方会員数		2,253	2,330	↑	↑	↑	マッチング件数			277	236	↑	↑	↑
活動状況数		7,579	6,867	↑	↑	↑								
R4年度の現状	令和4年度は、目標値よりも会員数が増加しており、また、マッチング件数も増加しました。活動説明会は、12回予定のうち、12回を実施し、基礎研修会も予定通り4回実施しました。また、会員獲得のための紹介動画を作成して、ホームページに掲載したり、市民活動フェスタに参加しました。さらに、妊婦検診時にファミサポを知ってもらうために、保健センターから「相互援助の手引き」を妊婦さんに配布してもらいました。					課題解決のための改善策		ファミリー・サポート・センターの会員登録手続きを拡充し、郵送でも手続きができるようにしました。提供会員になった後のフォローアップとして、提供会員向けLINEも運用しました。また、利用の対象年齢を6ヶ月からを「原則」6ヶ月からとし、必要と認められた場合援助を行うことにしました。						
これまでの課題	利用会員数が増えているため、提供会員を増やす必要があります。また、利用会員が利用しやすい運用とする必要があります。					R5からR6年度の取り組み		「子育て支援サポーター募集中」の提供会員募集ポスターを作成し公的機関に掲示することや利用会員から両方会員へ促すために、ファミサポ通信で両方会員特集を組むこと、千葉県生涯学習大学のシニア向け講座(年間7回)の中で、ファミサポの動画紹介とチラシ配布、子ども家庭課主催の支援員研修でチラシを配布するなど、引き続き、ファミリー・サポート・センターの提供会員を獲得するために、周知に努めます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価			
21	子育てグループの支援(子ども家庭課)	地域子育て支援センターや児童館、児童センターなどを活用し、乳幼児グループの活動を支援し、親同士の交流を促進します。また、子育て支援に関心のある方々のネットワークづくりを支援します。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
幼児グループの参加人数		4,515	4,658	↑	↑	↑								
R4年度の現状	地域子育て支援センターや児童館、児童センターの幼児グループの活動をサポートし、親同士の交流を深めることができました。					課題解決のための改善策		地域子育て支援センターや児童館、児童センターの幼児グループ活動について、LINEやホームページ等を活用し、周知をはかっていきます。						
これまでの課題	地域子育て支援センターや児童館、児童センターの幼児グループ活動の参加者を増やす必要があります。					R5からR6年度の取り組み		今後も、乳幼児グループの活動を支援し、親同士の交流を促進します。また、子育て支援に関心のある方々のネットワークづくりを支援します。						
(4)経済的支援の充実														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価			
22	児童扶養手当(子ども家庭課)	父母の離婚等により、父又は母と生計を同じくしていない18歳までの児童(18歳を迎えた最初の3月31日までの児童)を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を促進するため、当該家庭等の方に支給します。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
児童扶養手当支給事業(支給件数)		732	714	↑	↑	↑								
R4年度の現状	離婚死亡等により、父又は母と生計が同じでない18歳までの児童(18歳を迎えた最初の3月31日までの児童)を養育している方の生活安定と自立を促進するため、当該家庭に児童扶養手当を支給しました。					課題解決のための改善策		現況届が未提出の方については、督促により提出を促し審査を進めてまいります。						
これまでの課題	年1回の現況届が未提出のため、新年度の審査が保留となっている方がいます。					R5からR6年度の取り組み		引き続き児童扶養手当の支給を行います。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価			
23	児童手当(子ども家庭課)	家庭生活の安定と児童の健全な育成を図るため、中学校3年生までの児童を養育している方に支給します。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
児童手当支給事業(支給件数)		365,918	356,917	↑	↑	↑								
R4年度の現状	家庭生活の安定と児童の健全な育成を図るため、中学校3年生までの児童を養育している方に支給します。					課題解決のための改善策		現況届が未提出の方については、督促により提出を促し審査を進めてまいります。						
これまでの課題	年1回の現況届が未提出のため、新年度の審査が保留となっている方がいます。					R5からR6年度の取り組み		引き続き児童手当の支給を行います。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
24	特別児童扶養手当(障害者支援課)	20歳未満の心身に障害のある児童を監護している親、あるいは養育者に支給します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
受給者人数(人)		287	299	290	→	→	対象となる方に必要な案内が出来、支給に結び付けた			→	→	→	→	→
R4年度の現状	障害者手帳のご案内時に、対象になると考えられる方に個別のご案内を行いました。また、市広報、ホームページ、子育てガイドブック及び障害福祉の案内に情報を掲載し、広く周知を行いました。					課題解決のための改善策								
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み		引き続き、個別のご案内や各種の媒体を通じて、必要な方の支給に結び付くよう努めていきます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
25	障害児福祉手当(障害者支援課)	20歳未満で心身に重度の障害があり、障害の程度が基準を満たす児童に支給します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
延べ支給人数(人)		954	962	990	→	→	対象となる方に必要な案内が出来、支給に結び付けた			→	→	→	→	→
R4年度の現状	障害者手帳のご案内時に、対象になると考えられる方に個別のご案内を行いました。また、市広報、ホームページ、子育てガイドブック及び障害福祉の案内に情報を掲載し、広く周知を行いました。					課題解決のための改善策								
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み		引き続き、個別のご案内や各種の媒体を通じて、必要な方の支給に結び付くよう努めていきます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
26	子ども医療費の助成(子ども家庭課)	中学校3年生までの子どもが病気などで保険診療を受けた場合、その医療費の一部を助成します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
子ども医療費助成事業(受給件数)		438,184	503,501	↑	↑	↑								
R4年度の現状	中学3年生までの子どもが病気などで保険診療を受けた場合、その医療費の一部を助成します。					課題解決のための改善策		引き続き県へ補助の拡充を要望していきます。						
これまでの課題	県費補助の拡充が課題となっています。					R5からR6年度の取り組み		令和5年4月診療分から助成対象を中学校3年生までから高校3年生(18歳年度末)まで拡充し、令和5年8月1日から償還払いの受付及び現物給付を開始します。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
27	未熟児養育医療の給付(子ども家庭課・健康増進課)	【子ども家庭課】乳児及び保護者の保健衛生の向上を図るため、入院養育が必要な未熟児に対して医療給付を行います。 【健康増進課】										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
未熟児養育医療給付事業(受給件数)【子ども家庭課】		148	95	↑	↑	↑								
給付申請受付数【健康増進課】		52	39	→	→	→								
受給者のフォロー訪問率%【健康増進課】		95	100	100	100	100								
R4年度の現状	乳児及び保護者の保健衛生の向上を図るため、入院養育が必要な未熟児に対して医療給付を行いました。【子ども家庭課】保健センターに問い合わせがあった場合は、申請手続きについて丁寧に案内するとともに、申請来庁時に地区担当保健師等が話を伺い、その後の訪問指導を継続して行っています。【健康増進課】					課題解決のための改善策		感染対策を徹底し、対象者が安心して相談できる相談体制づくりに努めます。【健康増進課】						
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大時は、感染不安から訪問を希望しない家庭がありました。【健康増進課】					R5からR6年度の取り組み		引き続き、両課で情報を共有し、継続して適切な支援に努めます。【子ども家庭課・健康増進課】						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
28	ひとり親家庭等の医療費の助成(子ども家庭課)	18歳までの児童(18歳を迎えた最初の3月31日までの児童)を養育する母子、父子家庭等及びその児童が、医療費の保険給付を受けた場合、その自己負担額の一部を助成します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
ひとり親家庭等医療費助成事業(受給件数)		27,870	29,136	↑	↑	↑								
R4年度の現状	18歳までの児童(18歳を迎えた最初の3月31日までの児童)を養育する母子、父子家庭等及びその児童が、医療費の保険給付を受けた場合、その自己負担額の一部を助成します。					課題解決のための改善策		引き続き県へ補助の拡充を要望していきます。						
これまでの課題	県費補助の拡充が課題となっています。					R5からR6年度の取り組み		引き続き、ひとり親家庭等の医療費の助成を実施します。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
29	保育所保育料負担の適正化(保育課)	保護者等が適正な負担となるよう、低所得世帯等に配慮した、保育料の適正化を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
R4年度の現状		多子世帯の負担軽減を図る観点から、その算定における第1子の判定基準を「未就学児」から「小学3年生以下」に拡大し、この第1子から数えて「第3子以降となる0～2歳の児童」の保育料を無料としました。新型コロナウイルス感染症の影響により、施設が休園等になった場合は保育料の還付を行いました。					課題解決のための改善策							
これまでの課題	各家庭の実情に合わせ、適正な負担について検討していく必要があります。					R5からR6年度の取り組み		国基準よりも細かい保育料の区分を設定し、低所得世帯等に配慮した保育料決定を継続して行います。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
30	実費徴収に係る補給給付を行う事業(保育課)	各施設事業者において実費徴収ができることとされている食事の提供に要する費用について、低所得世帯を対象に、費用の一部を助成します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
R4年度の現状		年収360万円未満相当の世帯及び第3子以降の子どもたちについて、保育所において実費徴収される給食費を免除しました。また、幼稚園の給食費の副食費についても月額4,500円を限度に補助を行いました。					課題解決のための改善策							
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み		引き続き対象者に助成を行います。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
31	特別支援教育就学奨励費補助(学校教育課)	特別支援学級へ就学する児童・生徒の保護者(申請に係る世帯の所得状況に応じて支給制限あり)の経済的負担を軽減するため、特別支援学級への就学のために必要な経費の一部を助成します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
							認定者数(人)			270	317	→	→	→
R4年度の現状	特別支援学級在籍の経済的困窮世帯の児童・生徒が安心して学校生活を送るため必要な家庭へ適正に就学奨励費を支給しました。					課題解決のための改善策		支給に必要な申請書及び添付書類に基づき、国が定める基準額以内か又は超える世帯かに区分します。						
これまでの課題	世帯所得が国の定める基準額を超えている場合は、通学費のみ支給しています。					R5からR6年度の取り組み		引き続き必要な家庭へ就学奨励費を支給します。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
32	就学援助・奨学金(学校教育課)	経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者への援助を行います。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
広報ながれや掲載数(年何回)		3	3	→	→	→	認定者数(人)		958	962	→	→	→
R4年度の現状	経済的理由でお困りの児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう学用品等を援助しています。					課題解決のための改善策	行事に不参加の場合でも、キャンセル料等により保護者への負担が発生している場合には、保護者の負担分を支給することにしました。						
これまでの課題	修学旅行費、林間学園費、校外学習費は参加した児童・生徒の実費負担分を支給しており、不参加の場合は支給対象外となっています。					R5からR6年度の取り組み	社会情勢を把握し、必要な就学援助を行っていきます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
33	入学準備金の貸付(教育総務課)	高等学校又は専修学校に入学を希望する保護者に対して、無利子で貸付します。今後も入学準備金の貸付について、市のホームページや広報紙により情報提供に努めるとともに、入学準備金の調達が困難な保護者に対し、教育の機会均等を図ります。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
入学準備金に関する相談件数		1	1	→	→	→	入学準備金の申請数		0	1	→	→	→
							入学準備金の貸付実施数		0	1	→	→	→
R4年度の現状	市のホームページや広報紙での周知を図るとともに、市内全中学校にパンフレットを配布し、入学準備金の貸付制度の周知に努めました。令和4年度は1件の相談及び申請があり、貸付を行いました。					課題解決のための改善策	市内全中学校へのパンフレット配布や市のホームページ、広報紙での情報発信をできるだけ早い時期に行い、パンフレット内にも早めに申請を行うよう記載しました。						
これまでの課題	申請から口座への入金まで一定の時間がかかるため、早めに申請をしていただく必要があります。					R5からR6年度の取り組み	市のホームページや広報紙により情報提供に努め、入学準備金の調達が困難な家庭の生徒への教育の機会均等を図ります。また、窓口での丁寧な説明を心がけ、必要な方が入学準備金貸付制度を利用できるよう努めます。						

基本目標2 子どもと保護者の健康づくり													
(1)子どもや保護者の健康の確保													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価		
★34	妊娠・出産・子育てサポート事業 (健康増進課)	子育てなんでも相談室として、妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を実施します。母子健康手帳交付時の妊婦面談により情報把握を行い作成した支援計画をもとに安心して出産・育児に臨めるよう、妊娠早期から不安や困り事についての相談に応じ、解決に向けた支援をします。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
妊婦面談率(%)		100	100	100	→	→	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		93	93	95	96.5	↑
乳児家庭全戸訪問実施率(%)		94	97	95	↑	↑	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)		82	76	85	88	↑
R4年度の現状	母子健康手帳交付時に専門職による面談を行い、妊娠早期からの情報提供や支援の必要な方の把握に努めました。令和2年度10月から開始した「育児支援サービス助成事業」を、産前産後に家族等からの支援が得られず不安を抱える妊産婦への、家事及び育児支援等のサービスの提供をより利用しやすく見直し、「育児支援等サービス事業」として、実施しました。また、南流山センター内に新たに子育てなんでも相談室を開設しました。						課題解決のための改善策	保健センターと南流山センターの2つの「子育てなんでも相談室」において支援が必要な方への対応が早急にできるよう、関係機関とも連携し更なる支援体制の強化を図ります。					
これまでの課題	支援を要する妊産婦が増加しているため、個々の状況に応じた支援を提供し、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、妊娠期からの切れ目のない支援体制の更なる強化が必要です。						R5からR6年度の取り組み	保健センターと南流山センターの2つの「子育てなんでも相談室」は、関係機関と連携し、支援体制の強化を図ります。また、支援を要する妊産婦は、産前産後のサポート不足や、周囲に知り合いのいない孤立感や初めての育児に対する不安感など様々な理由により、支援が必要となっており、個々の状況に応じた支援に努めます。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価		
35	母子健康教育 (健康増進課)	妊産婦、乳幼児の健康の保持増進のための育児手技や生活習慣などが身につけられるよう支援を行います。参加者数の増加やパートナー参加のニーズがみられるため、実施方法について検討し、市民が受講しやすい体制を整え、地域交流のきっかけの場を担えるような内容などを検討していきます。また、関係機関との連携を強化しながら、支援をしていきます。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
ハローベビー開催回数		35	43	48	48	48	ハローベビー参加者数		685	901	1,200	1,200	1,200
むし歯予防教室開催回数		34	40	40	36	36	むし歯予防教室参加者数		935	977	1,600	1,400	1,400
R4年度の現状	事業の中止はありませんでしたが、新型コロナウイルス感染拡大時には、両親学級やその他の事業をオンラインで開催することで、コロナ禍でも事業の参加の機会を減らすことなく実施することができました。令和3年度と同様に不安を抱える方には各種専門職が個別に対応しました。						課題解決のための改善策	安心して受講できるよう、オンライン開催や、内容変更、感染症対策や人数制限を実施しました。必要に応じて、各種専門職が電話にて一人ずつ丁寧に相談指導を行い、不安を解消するよう努めます。					
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症の感染状況が変わる中で、内容や実施方法について適宜検討や変更が必要でした。						R5からR6年度の取り組み	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へ移行したことに伴い、内容を検討及び変更し事業を実施します。また、より参加しやすい体制作りや、ニーズに沿った教育内容となるよう各種専門職が対応していきます。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価		
★36	乳幼児健康診査 (健康増進課)	乳幼児健康診査の充実を図ることで、疾病や発達障害の早期発見予防といった丁寧な健康診査に努め、子育て中の保護者の孤立化を防ぎます。また、マイナンバーを活用した他市町村との情報連携を行い、未受診者を把握することで、虐待の予防、早期発見に繋がります。 (参考)乳児健康診査(3～6か月児、9～11か月児)、3か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
乳児一般健康診査受診券交付者数(人)		2,656	2,647	2,500	→	→	1歳6か月児、3歳児健康診査率(%)		93.6	93.8	95	95	→
3か月児、1歳6か月児、3歳児健康診問診票発送数(通)		7,334	7,034	7,000	7,100	→	3か月児健康診査率(%)		93.8	95.3	95	95	→
R4年度の現状	乳幼児健康診査においては、新型コロナウイルス感染症等の感染予防に努め、各健康診査を適切な時期に受診できるよう、市内契約医療機関で実施しました。						課題解決のための改善策	3歳児健康診査における歯科健診の受診率の向上を目指し、令和5年度から歯科健診を個別健診から集団健診へ変更して実施します。新生児聴覚スクリーニング検査については、早期発見・治療・療育に繋げる体制を整備します。					
これまでの課題	3歳児健康診査における歯科健診について受診率が低下しており、受診率向上の対策が必要です。また、令和3年度から実施している新生児聴覚スクリーニング検査は、検査後のフォローが適切に実施できる体制の整備が必要です。						R5からR6年度の取り組み	乳幼児健康診査の実施方法については受診率の向上を目指し、内容や周知方法も含め、更なる検討が必要です。また、新生児聴覚スクリーニング検査については検査結果の確認や支援のフローチャートを作成し、母子保健事業を活用したフォロー体制を整備します。					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
37	母子健康相談 (健康増進課)	保護者の育児不安の軽減を図り、子供が健やかに育つよう、育児や栄養、歯科等の相談について専門職がいつでも気軽に相談できる体制づくりに努めます。 ・フォローアップ相談(予約制)、すくすく相談(常設)										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
来所者数(延べ数)		302	412	350	450	550	相談件数(延べ数)		433	646	450	550	650
R4年度の現状	保健センター、南流山センター、東部公民館にて、年間24回のフォローアップ相談を実施しました。保護者が安心して相談できるよう予約制とし、感染症の予防に努めました。また、保健センターのすくすく相談では、乳幼児用の身長・体重計を常設し、保護者が気軽に各専門職が対応できるようにしました。令和5年3月に開設した、南流山センターの子育てなんでも相談室にも乳幼児用の身長計・体重計を常設しました。					課題解決のための改善策		保健センターのすくすく相談を利用できない地域の相談においては、南流山センターの予約枠を拡充します。保健センターで開催するフォローアップ相談は、乳幼児健康診査の事後相談事業と同日で1日開催とすることで、相談可能な時間が増え、保護者の様々なニーズに対応できると考えます。					
これまでの課題	南流山センターで実施しているフォローアップ相談は、ニーズが高いですが、隔月開催のため、保護者が相談したいタイミングと合わないことがあります。一方、各専門職によるすくすく相談は、保健センターのみ実施しているため、気軽に利用できない地域があります。					R5からR6年度の取り組み		南流山センターでのフォローアップ相談は終了しますが、南流山センターの子育てなんでも相談室にて、月に1~2回各専門職による相談機会を設け、保護者の方が気軽に相談できる環境を整えます。引き続き、各専門職が保護者に寄り添いながらタイミングよく相談できる体制づくりに努めます。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
38	母子訪問指導 (健康増進課)	訪問指導によって、妊娠・出産・育児の不安解消を図り、健康の保持、増進に努めます。今後も、他事業や関連機関との連携強化及び、早期に支援へつなげる体制づくりを行います。また、対象者の増加が予想されることから、訪問従事者の確保に努めます。 ・妊産婦、新生児訪問指導 ・乳幼児訪問指導										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
乳幼児家庭全戸訪問実数		1,987	2,067	→	→	→	乳幼児家庭全戸訪問実施率(%)		94	97	96	98	98
R4年度の現状	対象者は出生届から抽出し、長期入院や長期里帰りのを理由に不在のお子さん以外は全数訪問を実施し実施率は増加しました。					課題解決のための改善策		妊娠・育児サポート係との連携により事前に対象家庭の状況や予測される問題などの情報を得て、早期に必要な支援につなげていきます。出産子育て応援給付金の開始に伴い、申請書を乳児家庭全戸訪問時に直接渡すことにより、訪問実施率の向上につなげます。					
これまでの課題	乳幼児の人口増加に伴い、支援が必要な家庭も増加傾向にあります。相談内容も様々であり、必要な支援を適切なタイミングで提供する必要があります。					R5からR6年度の取り組み		他事業や関連機関との連携強化を行い、訪問指導によって育児の不安解消を図るとともに、早期に継続的な支援へつなげる体制づくりに努めます。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
39	健診後のフォロー体制づくり (健康増進課)	発達等、心配のある乳幼児への専門的アドバイスと支援に努めます。今後も各乳幼児健康診査・心理相談員による発達等の相談・幼児グループ等の場でも関係職種と情報共有し、支援を要する対象児に対し、適切な時期につなげていきます。 ・発達・健康・心理相談 ・幼児グループ指導 ・乳幼児ケース検討										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
幼児グループ実施回数		15	22	→	→	→	幼児グループ参加人数		43	40	→	→	→
おやこ相談実施回数		140	118	↑	↑	↑	おやこ相談利用数		665	732	↑	↑	↑
R4年度の現状	おやこ相談や幼児グループとも、新型コロナウイルス感染症等の感染予防に配慮しながら実施しました。おやこ相談は、発達への保護者の関心や人口増加に伴い、相談件数が増加しています。また、適切な時期に必要な支援ができるよう、関係機関との情報共有に努めました。					課題解決のための改善策		適切な時期に相談を実施し支援につなげられるよう、実施回数を増やさず、相談日の相談時間を工夫することで、相談枠を増やしました。					
これまでの課題	おやこ相談は、相談ニーズが高まり相談件数が増加したため、キャンセル待ちの状況が生じました。					R5からR6年度の取り組み		各支援の際には、関係職種や必要に応じて関係機関とも連携をとりながら、適切な時期に支援を行っています。おやこ相談については、相談時間の確保が十分であったか評価し、ニーズに応じて適切な時期に相談が実施できるよう努めます。					



番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
40	予防接種 (健康増進課)	予防接種による疾病予防の啓発普及に努めるとともに、接種率の向上に努めます。風しんの抗体検査・第5期定期接種を実施します。また、定期接種対象外の年齢の方で、妊娠を希望する女性や、その配偶者を対象に風しんの予防接種費用の助成を実施します。今後も国の動向や感染症の流行状況をみながら、事業を継続していきます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
麻しん風しん1期予防接種個別勧奨通知		1/年	1/年	→	→	→	接種率(A類:麻しん風しん1期)(%)		92.22	97.0	95.0	95.0	95.0
麻しん風しん2期予防接種個別勧奨通知		2/年	2/年	→	→	→	接種率(A類:麻しん風しん2期)(%)		96.75	97.3	95.0	95.0	95.0
R4年度の現状	風しん抗体検査・風しん第5期予防接種の実施期間の延長に伴い、未接種者への新規クーポン券の発行や転入者への通知を行いました。また、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種の積極的勧奨が再開されたため、標準的な接種年齢を迎える方と、キャッチアップ接種の対象者へ個別通知を発送しました。その他の定期予防接種についても、個別勧奨等で接種に関する周知を行いました。						課題解決のための改善策	麻しん風しん混合ワクチンを含め、接種率向上のため、事業を活用した接種勧奨を行い、新型コロナウイルス感染症流行前の接種率を目指します。					
これまでの課題	麻しん・風しん第1期については、新型コロナウイルス感染症流行による接種控えの影響もあり、接種率が新型コロナウイルス感染症流行前と比べて低い状況となっているため、接種率の向上を図る必要があります。						R5からR6年度の取り組み	麻しん・風しん第1期については、引き続き1歳6か月児健康診査の個別通知を利用した接種勧奨を行い、接種率の向上に努めます。また、令和5年度はヒトパピローマウイルス感染症予防接種に9価が加わるため、ホームページや広報、個別通知等で十分な周知を行います。風しんの抗体検査・風しん第5期予防接種の実施期間延長については、未接種者への新規クーポン券の発行や転入者への通知を行います。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
★41	養育支援訪問事業・産褥期ヘルパーの情報提供 (子ども家庭課・健康増進課)	【子ども家庭課】産後、親族等の支援が難しい方等を中心に利用できるサービスの情報提供を行うとともに、利用者の適切な支援計画を作成し、安心して産後の生活ができるよう支援します。 【健康増進課】養育支援が特に必要な家庭に対し、専門職等による訪問を実施し、養育に関する指導・助言・必要なサービスの情報提供等を行うことで、保護者等が適切な養育を行えるよう支援していきます。今後は支援体制の見直しを関係機関と行い、事業の充実を図ります。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
養育支援訪問実数【健康増進課】		7	6	→	→	→	ヘルパーサービス利用実数【健康増進課】		4	7	→	→	→
養育支援訪問延数【健康増進課】		18	11	→	→	→	ヘルパーサービス利用延べ数【健康増進課】		18	46	→	→	→
R4年度の現状	新型コロナウイルス感染症の影響で、支援可能な事業所が限られたケースがありましたが、必要性が高い家庭については、保護者や事業所と調整を図りながら実施しました。【子ども家庭課】乳児家庭全戸訪問の結果や健診、関係機関からの情報等で把握した、支援が必要な家庭について、健康増進課内で検討を行い、必要な家庭に養育支援訪問を実施しています。また、関係部署と連携が必要な場合は、随時情報共有し、評価しながら対応や役割を明確にして対応しています。【健康増進課】						課題解決のための改善策	関係機関と連携し、支援の必要性が高い家庭に適切にサービス提供が行えるよう情報提供を行うとともに、利用希望者には支援計画を作成し、安心して子育てができるよう支援します。【子ども家庭課】課内や関係部署との検討会やケース会議を実施し、必要なサービスを実施できるよう、関係機関と連携していきます。また、その様な機会を活用し、個々のケースの支援検討だけでなく、支援体制の整備や連携強化についても検討していきます。【健康増進課】					
これまでの課題	養育訪問支援(ヘルパー派遣)の必要性が高いと判断しても、保護者の理解が得られなかったり、予定された支援期間が保護者の意向で切り上げとなることがありました。【子ども家庭課】乳幼児の人口増加に伴い、支援が必要な家庭も増加傾向にあります。相談内容も様々であり、引き続き必要な支援を適切なタイミングで提供する必要があります。【健康増進課】						R5からR6年度の取り組み	子育てをするにあたり、親族等の支援が難しい方等に利用できるサービスの情報提供を行うとともに、適切な支援計画を作成し、安心して生活ができるよう支援します。【子ども家庭課】養育支援訪問の適応があっても保護者の利用につながらない場合もあり、適切なタイミングで必要な支援を展開できるよう、事例検討等を行い、事業への理解を深めていくとともに、研修を通して指導・助言の質の向上、情報の更新に努める必要があります。【健康増進課】					

(2)食育の推進													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標						令和4年度評価					
42	食に関する講座・体験学習 (公民館・健康増進課・保育課)	<p>【公民館】地元で作られる野菜などの食材を活かした食育体験等、地場産業の振興と健康づくりを兼ねた講座の展開に努めます。</p> <p>【健康増進課】生涯にわたり健康の維持増進のための適切な食生活の習慣や技術が身につけられるよう支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子クッキング</li> <li>・健康づくり推進員の活動の支援 等</li> </ul> <p>【保育課】地元で作られる食材を活かした食育体験や保育参観を通じて、保護者に給食を体験する機会を設けます。</p>						A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
ハローベイビー(調理実習等)実施回数【健康増進課】		8	12	12	12	12	ハローベイビー(調理実習等)参加人数【健康増進課】		66	116	→	→	→
親子クッキング実施回数【健康増進課】		0	1	1	↑	↑	親子クッキング参加人数【健康増進課】		0	16	↑	↑	↑
保育所給食参観件数【保育課】		0	0	0	4	4	保育所給食参観参加人数【保育課】		0	0	0	300	300
開催回数【公民館】		0	3	↑	↑	↑	参加者数【公民館】		0	26	↑	↑	↑
R4年度の現状	<p>食材を活かした食育体験の講座を実施し、食について学習する講座を開催しました。【公民館】</p> <p>新型コロナウイルス感染症等の感染予防に努め、事業を開催しました。両親学級は、令和3年度に引き続き調理実習を中止し、講義のみを行いました。親子クッキングは、3年ぶりの開催となりました。【健康増進課】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響のため、令和4年度についても給食参観は行いませんでした。【保育課】</p>						課題解決のための改善策	<p>新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、食に関する講座を企画し、実施回数を増やしていきます。【公民館】</p> <p>参加者のニーズに関する情報収集を行い、適切な情報提供をしていきます。【健康増進課】</p> <p>地元で作られる食材をできるだけ身近に感じることが出来るような媒体を作成し、子どもたちだけでなく保護者にも発信していきます。【保育課】</p>					
これまでの課題	<p>令和3年度に比べ講座回数を増加させましたが、新型コロナウイルス感染症前に比べ、開催回数が少ないのが課題です。【公民館】</p> <p>各事業において参加者のニーズに合っているか実施内容を検討する必要があります。【健康増進課】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響のため、給食参観などの保護者が給食を体験する機会を設けることが出来ませんでした。【保育課】</p>						R5からR6年度の取り組み	<p>新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、健康づくりを兼ねた講座の企画及び開催回数の増加に努めます。【公民館】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の位置づけの変更に伴い、実施内容を検討し、健康づくりのための適切な食生活習慣や技術が身につけられるよう支援していきます。【健康増進課】</p> <p>令和5年度より、給食参観を再開します。給食参観などを通して、保護者にも食育についての情報を発信していきます。【保育課】</p>					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標						令和4年度評価					
43	食育指導・情報提供 (健康増進課・学校教育課・保育課)	<p>【健康増進課】関係機関と連携し、保育所、学校など様々な場や機会を通して、子どもが望ましい食習慣を身につけ、心身の健やかな発達ができるよう、食に関する教育を推進します。また、食に関する教育や情報の提供について、保健センター、保育所、学校等関係機関の連携を強化し、総合的な取組が行えるよう総合的な体制づくりと事業の推進を行います。</p> <p>【学校教育課】子どもが望ましい食習慣を身につけ、心身の健やかな発達ができるよう、食に関する教育を推進します。また、食に関する教育や情報の提供について、保健センター、保育所、学校等関係機関の連携を強化し、総合的な取組を推進します。</p> <p>【保育課】地産地消の観点から、地元の野菜を増やし、食育の推進を図ります。</p>						A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
食育推進会議【健康増進課】		3回/年	3回/年	→	→	→	出席率(%)【健康増進課】		75.8	84.2	100	100	100
食育パネル展示【健康増進課】		3会場	3会場	→	↑	↑	関係課との連携強化【健康増進課】		→	→	→	→	→
食に関する指導計画の作成(校)【学校教育課】		26	27	27	27	29							
地元の野菜数(米を含む)【保育課】		3	5	5	5	5	地元の野菜を使用した献立の回数【保育課】		281	295	330	340	350
R4年度の現状	<p>関連機関と連携し、食育のパネル展示等により食育を推進しています。【健康増進課】</p> <p>令和4年度より、公立保育所に流山産野菜の納品を行う農家が増えました。【保育課】</p>						課題解決のための改善策	<p>より多くの市民に食育に関心をもってもらえるよう、ホームページの掲載内容や食育パネル展示等、活動内容の見直しを行います。【健康増進課】</p> <p>地元の野菜や果物について学び、増やしていきます。【保育課】</p>					
これまでの課題	<p>様々な年代の方々に食に関する情報提供ができるよう、更なる周知が課題となっています。【健康増進課】</p> <p>新たに公立保育所に流山産の野菜や果物を納品してくれる農家を探すことが難しい状況です。【保育課】</p>						R5からR6年度の取り組み	<p>市民が、食育を通じ健全・健康な食生活が送れるよう、各関係機関・団体と連携し、情報の共有を図りながら推進していきます。【健康増進課】</p> <p>地元の野菜の種類を増やすとともに納品回数も更に増やしていきます。【保育課】</p>					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
44	乳幼児の食生活指導 (健康増進課)	乳幼児が適切な食習慣を身につけるとともに、むし歯を予防するため、保護者を対象にして、離乳食の進め方や、調理実習、歯磨きの指導などを行い、生涯にわたる健康な身体のための正しい情報提供を行います。 ・もぐもぐ教室(離乳食初期) ・カムカムキッズ(離乳食後期) ・むし歯予防教室 ・乳幼児健診の場を通じた情報提供										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
もぐもぐ教室(離乳食初期)実施回数		28	39	39	39	39	もぐもぐ教室(離乳食初期)参加人数		770	1,074	→	→	→
カムカムキッズ(離乳食後期)実施回数		14	24	24	24	24	カムカムキッズ(離乳食後期)参加人数		256	500	→	→	→
R4年度の現状	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、試食を中止しましたが、乳幼児が適切な食習慣を身につけるための情報提供を行いました。						課題解決のための改善策		新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へ移行したことに伴い、位置づけの変更に伴い、試食を再開します。また、より多くの方に正しい情報提供をし、適切な支援をしていきます。申込方法は、申し込みしやすい電子申請等の方法を検討していきます。				
これまでの課題	随時、受講者の意見や最新情報を取り入れ、ニーズに応じた指導内容にしていく必要があります。申込方法が電話のみのため、申込方法を検討します。						R5からR6年度の取り組み		令和5年度も引き続き、離乳食教室を通して、乳幼児が適切な食習慣を身につけ、生涯にわたる健康な身体のための情報提供を行います。また、様々な職種と連携し、保護者に寄り添い、支援していきます。				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
45	栄養相談・栄養指導 (健康増進課・保育課)	【健康増進課】各事業を通じ、乳幼児健診や乳幼児相談において、栄養士による相談及び乳幼児の家庭での食事を通じた生涯にわたる健康づくりの支援を行います。 【保育課】アレルギー等の乳幼児に対し、個別相談を行い、適切な給食を提供するなど、事業の継続に努めます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
各種乳幼児健診(1歳6か月児健診、3歳児健診)、フォローアップ相談実施回数【健康増進課】		77	84	→	→	→	各種乳幼児健診(1歳6か月児健診、3歳児健診)、フォローアップ相談栄養相談数【健康増進課】		2,159	2,250	↑	↑	↑
個別相談人数【保育課】		10	17	→	→	→	適切な給食の提供【保育課】		100%	100%	100%	100%	100%
R4年度の現状	新型コロナウイルス感染症等の感染防止対策を行い、事業を開催しました。電話相談は、様々な職種と連携し、保護者の不安を解消するよう努めました。また、令和4年度3月にアレルギー疾患対策基本指針が一部改正され、アレルギーについて両親学級や3か月児健康診査問診票の発送書類にリーフレットを同封するなど、より多くの保護者の方に適切な指導ができるよう努めました。【健康増進課】 食物アレルギー児等に個別面談を行い、安心安全な給食の提供を行いました。【保育課】						課題解決のための改善策		電話相談ができる体制を整備し、保護者の不安やニーズの把握に努め、情報提供の方法等、検討していきます。保健師と情報共有をし、連携していきます。【健康増進課】 適切な給食の提供ができるように、様々な職種と連携しています。【保育課】				
これまでの課題	1歳6か月児健康診査は、対面による個別栄養相談ではなく、電話による相談を実施しているため、保健師と連携しながら保護者の不安やニーズの把握をし、支援していく必要があります。【健康増進課】 既に食物アレルギー面談済の児童に対しても、再度個別相談を行い、適切な給食の提供ができるようにしていきます。【保育課】						R5からR6年度の取り組み		今後も常に新しい情報や知識を習得し、保健師と連携し、保護者に寄り添い支援できるよう努めます。【健康増進課】 引き続き、適切な給食の提供ができるように、様々な職種と連携を行っていきます。【保育課】				

(3) 思春期保健対策の充実												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標						令和4年度評価				
46	思春期相談体制の充実 (子ども家庭課・生涯学習課・指導課・学校教育課・健康増進課)	<p>【子ども家庭課】学童期、思春期等の相談に様々な角度で対応できるよう、関係機関と連携を図りながら、引き続き、相談体制を強化してまいります。</p> <p>【生涯学習課】青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、訪問、窓口での相談の充実を図ります。</p> <p>【指導課】子ども専用ホットラインの電話相談やいじめ報告・相談アプリの導入により、今後も継続して相談体制の充実に努めます。</p> <p>【学校教育課】松戸健康福祉センターなど、関係機関との連携を高め、思春期相談活動の充実に努めます。</p> <p>【健康増進課】学童期、思春期における悩みや性の問題に関し、松戸健康福祉センター(保健所)、学校保健との連携を強化し、相談しやすい体制づくりに努めます。</p>						A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
相談件数(件)【生涯学習課】		57	55	—	—	—						
保健主事部会参加回数【健康増進課】		1/年	2/年	1/年	→	→	市民からの相談対応の有無【健康増進課】	有り	有り	有り	有り	有り
電話相談・アプリ相談件数【指導課】		電話14件 アプリ24件	電話17件 アプリ50件	→	→	→	相談アプリ登録率【指導課】	7.2%	2.4%	↑	↑	↑
松戸保健所による思春期講演会の実施【学校教育課】		1	1	→	→	→						
R4年度の現状	<p>家庭児童相談として、学童期や思春期の児童本人や、保護者の相談に応じました。【子ども家庭課】より多くの市民に相談の機会を提供できるよう、通常の相談(月～金曜日の平日)に加え、休日に特別相談窓口(計6日)を開設しました。また、相談窓口を広く周知するため、相談室だより「はなみずき」を新たに発行しました。【生涯学習課】流山小中学生専用なやみホットラインは17件、アプリは50件の利用がありました。R4年度は、委託業者の社名変更に伴うアプリの更新があり、それ以前の登録が解除されたため、登録率は減っています。【指導課】松戸保健所においては、本市の令和5年1月31日実施、第2回保健主事部会において講師としてご講演いただいた。松戸保健所が主催する思春期講演会には、希望する教職員が参加しています。【学校教育課】学校からの依頼に基づき、性教育を実施しました。生徒の実情や理解度に合わせた講義内容となるよう打ち合わせを行い、内容を検討しました。感染症対策のうえ、体育館で対面により実施することが出来ました。【健康増進課】</p>						課題解決のための改善策					
これまでの課題	<p>SNSの普及や様々な家庭背景等から、子どもや保護者が抱える問題が複雑多岐に渡り、専門的な相談スキルが必要となっています。【子ども家庭課】相談者の悩みの解決が図れるよう、関係諸機関との連携を強化していく必要がありました。また、多くの市民に利用してもらえるよう、相談室の周知が必要でした。【生涯学習課】相談先の周知と相談利用の増加が課題です。【指導課】学校と連携し、学校と母子保健の課題を照らし合わせながら、その年代に応じた思春期教育を実施していくことが必要です。【健康増進課】</p>						R5からR6年度の取り組み					
R4年度の現状		<p>学童期、思春期の児童本人及び保護者等の相談に適切に対応できるよう、関係機関と連携を図りながら、相談体制を強化してまいります。【子ども家庭課】より多くの市民に相談の機会を提供できるよう、相談活動の工夫に努めます。また、関係諸機関への案内だけでなく、案内後の状況についても情報提供をしてもらい、継続的な支援を可能にいたします。【生涯学習課】相談先の周知といじめ防止授業等いじめ防止に関する取組を実施します。【指導課】事業の継続を図り、松戸健康福祉センターの思春期相談事業の積極的活用を図ります。【学校教育課】随時思春期の相談に応じ、学校と一緒に課題を共有し、必要に応じて松戸保健所の思春期相談を紹介し、適切な相談につなげます。【健康増進課】</p>						課題解決のための改善策				
これまでの課題	<p>SNSに係る児童生徒への指導の必要性が高まっており、保健主事部会の役割が多岐に渡っている。また、保健主事経験のない教員が保健主事を担うことも増えている。【学校教育課】学校における学校保健の現状や課題を把握し、共有し、母子保健と学校と地域の課題を照らし合わせながら、各々の事業に反映させていく必要があります。【健康増進課】</p>						R5からR6年度の取り組み					
R4年度の現状		<p>保健主事部会での研修内容を充実させ、教職員の専門性を高める。【学校教育課】学校保健主事部会に参加し、学童期、思春期における悩みや性の問題等、学校保健の思春期における課題を把握し、共有しました。【健康増進課】</p>						課題解決のための改善策				
これまでの課題	<p>学校保健の課題とされている、がん教育、性教育、薬物乱用防止教育に加え、SNSに係る教育について、各関係機関との連携を図り、充実に努めます。【学校教育課】引き続き学校保健と地域保健のそれぞれの情報共有を行いながら、連携を強め、事業内容の充実を図ります。【健康増進課】</p>						R5からR6年度の取り組み					
R4年度の現状		<p>学校保健の課題とされている、がん教育、性教育、薬物乱用防止教育に加え、SNSに係る教育について、各関係機関との連携を図り、充実に努めます。【学校教育課】引き続き学校保健と地域保健のそれぞれの情報共有を行いながら、連携を強め、事業内容の充実を図ります。【健康増進課】</p>						課題解決のための改善策				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標						令和4年度評価				
47	学校保健と地域保健の連携強化(学校教育課・健康増進課)	<p>【学校教育課】関係機関との連携を高め、保健指導の充実に努めます。</p> <p>【健康増進課】学校保健と地域保健のそれぞれの情報の共有化を行いながら、学校保健と地域保健との連携を図っていきます。</p>						A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
学校保健主事部会での健康増進課保健師による指導助言【学校教育課】		2	2	→	→	→						
市内学校での健康教育の有無【健康増進課】		有り	有り	→	→	→	性教育実施回数【健康増進課】	2	2	→	→	→
R4年度の現状	<p>感染症発生時の備えについて及びがん教育の取組について、専門的な見地から指導助言をいただいた。【学校教育課】学校保健主事部会に保健師が参加し、学校における保健の現状や課題を把握し、地域保健や母子保健の取り組みを共有しました。また、学校より依頼を受け性教育の講義を実施しました。【健康増進課】</p>						課題解決のための改善策					
これまでの課題	<p>SNSに係る児童生徒への指導の必要性が高まっており、保健主事部会の役割が多岐に渡っている。また、保健主事経験のない教員が保健主事を担うことも増えている。【学校教育課】学校における学校保健の現状や課題を把握し、共有し、母子保健と学校と地域の課題を照らし合わせながら、各々の事業に反映させていく必要があります。【健康増進課】</p>						R5からR6年度の取り組み					
R4年度の現状	<p>学校保健の課題とされている、がん教育、性教育、薬物乱用防止教育に加え、SNSに係る教育について、各関係機関との連携を図り、充実に努めます。【学校教育課】引き続き学校保健と地域保健のそれぞれの情報共有を行いながら、連携を強め、事業内容の充実を図ります。【健康増進課】</p>						課題解決のための改善策					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標						令和3年度評価				
48	性と生の教育の充実(公民館)	<p>事業番号69に統合</p> <p>自分を大切に、健康に生きるための学習を、保護者を対象に講座を開催します。</p>										

(4)小児救急医療の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価		
49	救急医療体制の充実 (健康増進課)	平日夜間・休日診療所及び夜間小児救急による初期診療・応急処置(第1次救急)を継続するとともに、子ども急病電話相談などの周知を図り、夜間・休日における小児の急病の際にも安心できる体制を確保していきます。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
利用者数		2,317	2,752	→	→	→							
R4年度の現状	流山市平日夜間・休日診療所及び夜間救急、2次救急など医療体制の維持のほか、市ホームページや子育てガイドブックなどで、子ども急病電話相談などの周知を図っています。					課題解決のための改善策	流山市平日夜間・休日診療所については、流山市医師会等と緊密な連携を図り、新型コロナウイルス感染症流行期においても必要な1次救急が提供されるよう取り組みました。						
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症流行期においても医療体制の維持が必要です。					R5からR6年度の取り組み	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけから類へ移行したが、基本的感染対策の継続や流山市医師会等と緊密な連携を図り、引き続き医療体制の維持に努めています。						

基本目標3 子どもが健やかに成長できる環境づくり

(1)子どもの人権の擁護

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和4年度評価
50	こどもの権利条約・児童憲章の周知・啓発 (指導課・子ども家庭課・障害者支援課・健康増進課)	<p>【指導課】人権週間等で意識を高めるだけでなく、子どもの権利や人権意識の定着のため今後も周知・啓発に努めます。また、流山市いじめ防止対策推進条例及び流山市いじめ防止基本方針を踏まえ、子どもたちがいじめに對する考え方を身に付けられるように、スクールロイヤー等による「自他ともに人権を守る大切さ」をテーマに『いじめ防止授業』を実施します。</p> <p>【子ども家庭課】児童の個性と権利を尊重するという考え方を社会に普及、定着させるため、児童の権利に関する理念の普及、啓発に努めます。</p> <p>【障害者支援課】関係課と連携を図り、相談支援を行う中で周知・啓発に努めます。</p> <p>【健康増進課】子どもの権利条約について、条約の主要な条文をイラストなどとともにわかりやすく記載したリーフレットを母子健康手帳とともに交付し周知に努めます。</p>	A B C D

主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
権利擁護に関する普及啓発【指導課】		↑	↑	↑	↑	↑	関係課との連携強化【指導課】	↑	↑	↑	↑	↑
スクールロイヤーのいじめ防止授業(校)【指導課】		26	27	27	27	29	いじめ防止授業実施数【指導課】	26	27	27	27	29
権利擁護に関する普及啓発【障害者支援課】		→	→	↑	↑	↑	関係課との連携強化【障害者支援課】	→	→	↑	↑	↑
R4年度の現状	<p>スクールロイヤーによるいじめ防止授業を児童生徒向けに行い、いじめに関する法律や、いじめに對する考え方を指導しました。また、小学校低学年、中学年向けに授業案を作成し、各学校で実施しました。【指導課】</p> <p>児童虐待防止のパネル展示等の広報啓発活動のほか、相談対応を行う中で子どもの権利に関する理念の普及、啓発を行いました。【子ども家庭課】</p> <p>個別の相談支援を行う中で、関係課と連携し子どもの権利擁護を意識した支援を行いました。【障害者支援課】</p> <p>子どもの権利条約に関するリーフレットを母子健康手帳とともに交付し周知を行いました。また、児童憲章が掲載されている、母子健康手帳を交付しました。【健康増進課】</p>	課題解決のための改善策	<p>スクールロイヤーによるいじめ防止授業実施学年以外のいじめ防止授業資料を考案し、各学校で実施ができるように調整中です。【指導課】</p> <p>児童本人及び保護者への相談対応を行う中で、児童の権利に関する意識の啓発・周知を図ります。【子ども家庭課】</p> <p>母子健康手帳やリーフレットを通じて子どもの権利条約や児童憲章について妊娠期からの周知啓発に努めます。【健康増進課】</p>									
これまでの課題	<p>スクールロイヤーによるいじめ防止授業実施学年以外の学年にも授業を実施していくことが課題です。【指導課】</p> <p>子どもの権利が育かされる児童虐待に関する相談が増加しています。【子ども家庭課】</p> <p>子どもの権利に関する支援が必要な家庭が増加しています。【健康増進課】</p>	R5からR6年度の取り組み	<p>全ての学年でいじめ防止授業を実施できるように、調整していく必要があります。【指導課】</p> <p>児童の個性と権利を尊重するという考え方を社会に普及、定着させるため、引き続き児童の権利に関する理念の普及、啓発に努めます。【子ども家庭課】</p> <p>関係課と連携を図り、相談支援を行う中で周知・啓発に努めます。【障害者支援課】</p> <p>児童憲章が掲載されている母子健康手帳の交付を行います。また、子どもの権利条約に関するリーフレットを引き続き交付し、周知啓発を行います。【健康増進課】</p>									

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和4年度評価
51	指導者の育成(指導課)	教職員・保護者等の人権意識の高揚を図るため、人権に関する研修を更に推進し、指導者の育成に積極的に努めます。	A B C D

主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
人権教育、道徳教育に係る研修会への参加や情報発信を促す		35	35	→	→	→	道徳教育推進研修会実施回数	1	1	→	→	→
R4年度の現状	<p>数年間、コロナ禍で中止になっていた道徳教育推進教師を対象とした研修会を実施することができました。人権意識を高めるためには、道徳教育が重要な役割を果たすことを再確認する機会となりました。また人権擁護委員協議会流山支部による人権講演会を中学校にて1校にて開催しました。</p>	課題解決のための改善策	<p>教職員の研修会の中で、児童生徒への授業方法や、各学校での取り組みを具体的に示していきます。また学校により等で、人権教育に関する話題を提示するように周知していきます。</p>									
これまでの課題	<p>研修によって、教職員の人権意識を高めることはできましたが、そのことを人権教育として児童生徒にどのように伝えていくか、具体的な方法を提示することが課題です。また保護者の人権意識を高める工夫についても考える必要があります。</p>	R5からR6年度の取り組み	<p>R5年度は、夏季休業中に教職員対象の人権教育推進研修会を実施します。また、今年度から始まる人権教育に関する研究指定校(流山小)の取組を各校に周知し、教職員の意識の高揚に努めます。</p>									

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
★52	相談・カウンセリング (子ども家庭課・生涯学習課・指導課)	<p>【子ども家庭課】児童・生徒・保護者がいろいろな問題について気軽に相談できるよう、相談事業の充実を図るとともに、必要であれば、カウンセリングが受けられるよう、関係機関との連携を強化します。 子ども家庭課に心理士を配置し、カウンセリング等には至らないか心理的な側面からの相談にも対応できるようにします。</p> <p>【生涯学習課】青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、窓口での相談の充実を図ります。</p> <p>【指導課】スクールカウンセラーを配置し、支援・相談体制の充実を図ります。</p>										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
相談件数(件)【生涯学習課】		57	55	—	—	—								
相談対応件数(延べ)【子ども家庭課】		18,366	26,906	—	—	—								
相談件数【指導課】		2,034	1,902	→	→	→	教育支援センター活用人数(見学・体験含む延べ人数)【指導課】			52	86	→	→	→
R4年度の現状	より多くの市民に相談の機会を提供できるよう、通常の相談(月～金曜日の平日)に加え、休日特別相談窓口(計6日)を開設しました。また、相談窓口を広く周知するため、相談室だより「はなみずき」を新たに発行しました。【生涯学習課】スクールカウンセラーを1名増員し、教育相談体制の充実にも努めました。【指導課】スクールカウンセラーを1名増員し、教育相談体制の充実にも努めました。【指導課】					課題解決のための改善策	関係諸機関との情報共有を密にし、継続的な支援を目指します。また、相談室だより「はなみずき」や青少年指導センターだよりなどで、相談窓口の更なる周知に努めます。【生涯学習課】保護者や児童生徒の話を丁寧に聞いた上で、スクールソーシャルワーカー等関係機関との連携を強めながら、支援方法の検討を進めていきます。【指導課】							
これまでの課題	相談者の悩みの解決が図れるよう、関係諸機関との連携を強化していく必要がありました。また、多くの市民に利用してもらえるよう、相談室の周知が必要でした。【生涯学習課】教育相談につながった児童のなやみが好転するためには、学校や関係機関との連携が必要であり、より正確にカウンセリングの内容を学校に伝える必要があります。【指導課】					R5からR6年度の取り組み	より多くの市民に相談の機会を提供できるよう、相談活動の工夫に努めます。また、関係諸機関への案内だけでなく、案内後の状況についても情報提供をしてもらい、継続的な支援を可能にしていきます。【生涯学習課】電話予約から初回の相談までの時間をできる限り短縮し、より速やかに相談につながれるようにします。不登校については、民間施設との連携の在り方を検討していきます。【指導課】							
(2)次代の親の育成														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
53	小・中学生職場体験学習 (指導課)	「職場体験学習」として、乳幼児と小・中学生がふれあう機会を得られる体験先を設けます。今後も継続して受け入れを依頼していきます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
体験学習先として提供された幼稚園及び保育園の数		0	20	→	→	→	体験学習を含めたキャリア学習を通して満足感を得た児童生徒の割合(%)			70	70	→	→	→
R4年度の現状	中学校6校が、職場体験を行いました。幼稚園や保育園の園児とのふれあいが非常に貴重な体験となりました。					課題解決のための改善策	健康観察はもちろんのこと、学級内や園内で感染が発生した場合には、体験を中止にします。そのための連絡を密にすることが大切だと考えています。							
これまでの課題	教員や児童生徒の事業所とのやりとりの難しさ(時間との制約も含む)や児童生徒や乳幼児の安全面の確保が課題です。					R5からR6年度の取り組み	乳幼児、児童生徒の安全面を確保し、体験内容を精査しながら実施に向けて取り組んでいきます。							
(3)教育環境の充実														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
54	保育士研修 (保育課)	保育に関する新しい課題に応じた保育内容や保育手法に関する研修や勉強会を実施し、保育士の資質向上に努めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
R4年度の現状	オンラインによる研修会に参加し保育士のスキルアップを図りました。					課題解決のための改善策	様々な手段で研修に参加できる機会を増やします。							
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症の影響で研修の機会が減りました。					R5からR6年度の取り組み	徐々に対面による研修が増えてきており、研修を受けられる環境を整え、受講できる機会を増やします。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
55	子育て支援員研修 (子ども家庭課)	地域で保育や子育ての支援活動に関心を持っている方が、活動するための十分な知識や技術を修得していただくために、研修を実施します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
子育て支援員研修受講者数		44	47	↑	↑	↑								
R4年度の現状	子育て支援員研修を実施し、地域で保育や子育ての支援活動に関心を持っている方が、活動するための十分な知識や技術を修得する機会を提供しました。					課題解決のための改善策		子育て支援員研修について、LINEやホームページ等を活用し、周知をはかっています。						
これまでの課題	子育て支援員研修の参加者を増やす必要があります。					R5からR6年度の取り組み		地域における子育て支援の担い手を確保するために、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながら、子育て支援員研修を実施します。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
★56	幼児教育に関する研究・研修 (指導課)	質の高い幼児教育が望まれているため、幼児教育の目的に応じた適切な指導が行われるよう、その研究・研修活動の支援の一層の充実を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
保幼小関連研究会回数		3	3	3	3	3	研究会参加人数(延べ人数)			214	276	→	→	→
R4年度の現状	「気になる子どもの見立て方やわかり方」や幼保小の連携について、大学教授等の専門家を招聘し、園種や公私の枠を超えて学ぶことができました。また、第3回の保幼小の情報引継ぎ会では、療育施設等の関連機関とも連携を図ることができました。					課題解決のための改善策		令和5年度は「幼保小の接続と動きの工夫」をテーマに研修会を実施し、発達段階に応じた運動の位置づけや多様な動きにつながるような遊びの事例について、研修を深めていきます。						
これまでの課題	幼児期は、運動機能が急速に発達し、基本的な動きを見つげる大事な時期であることから、幼児期のカリキュラムの中に運動遊びを取り入れることが重要です。感染症防止の観点から活動が制限されていたこともあり、子どもたちの遊びや運動について今後工夫した指導が必要です。					R5からR6年度の取り組み		幼児教育の充実と小学校への円滑な接続が図れるように、国の動向を注視しながら、研究・研修を進めていきます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
57	心の教育 (指導課)	「特別の教育 道徳」の時間を「要」として、学校の教育活動全体を通じて道徳教育が進められるよう「道徳教育推進研修会」等、学びの機会を広げていきます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
「特別の教科 道徳」の研究授業を実施させ、実践を積ませる		→	→	→	→	→	道徳教育推進研修会開催			—	1	1	→	→
R4年度の現状	各学校の研修会では、道徳の授業で研修を実施する学校が多くあり、そのことをきっかけに、道徳について深く考えることができました。また、夏季休業中には、各学校の道徳教育推進教師を対象とした研修会を対面で開催しました。またその研修会の様子をオンラインで全校に配信し、より多くの職員が学べる機会を設けました。					課題解決のための改善策		今年度は人権教育に関する研修会を夏季休業中に実施します。教職員の人権意識を高め、道徳の授業に生かせるようにします。						
これまでの課題	児童生徒の悩みは多岐にわたっているため、学校における道徳の授業が一層重要になっています。そのため、より深く考え、議論する道徳の授業の実践に向けて、更に深い学びとなる研修内容になるよう工夫することが課題です。					R5からR6年度の取り組み		人権教育に関する研修会を実施するほか、道徳教育や人権教育を推進するための様々な情報を発信していきます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
58	環境教育 (指導課)	学校周辺の自然や、校内に設置されたビオトープを利用して、社会・理科・総合的な学習の時間における環境教育の推進を行います。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
環境教育を取り入れている学校数		26	27	27	27	29	研修会への参加			26	27	27	27	29
R4年度の現状	各学校の校内だけでなく、地域と連携して、環境教育を進めることができました。理科では、ビオトープ周辺の植物の観察や、生活科での身の回りの生き物を見つけることで、より環境への意識を高めることができました。					課題解決のための改善策		各教科を越えて、SDGsの取組が進められています。身近にできることを増やしていくことはもちろん、中学生では、地球規模で参加できることを総合的な学習の時間を通して、学び深めていきます。						
これまでの課題	どうやって自然と共生していくかという意識を持たせることや、身近なところから環境を守るという行動にどう結び付けるかが課題です。					R5からR6年度の取り組み		自然や環境について学んだことを共有し、さらに新聞やレポート、プレゼンテーション等をおこなうことで発信することの大切さを気づかせるような教育を行います。						



番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
59	国際社会への対応(指導課)	新学習指導要領の改訂による、外国語の教科化や外国語活動の導入に伴い、学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するために全小学校に外国語指導助手と英語活動指導員を配置します。また、外国籍の児童生徒が増加傾向にあります。日本語での日常会話が難しい児童生徒への日本語指導を今後も継続して実施します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標		
教師の外国語指導力向上に取り組む		↑	↑	↑	↑	↑	小学校ALTの人数			11	11	11	11	12		
							英語活動指導員及び小学校ALT研修回数			2	2	2	2	2		
R4年度の現状	流山市として、小学校の外国語活動の定着が図られています。英語を楽しく学ぶ、音から学ぶことが大切にした授業作りが行われています。日本語での日常会話が難しい外国籍等の児童生徒への日本語指導の充実を図る必要があります。	課題解決のための改善策			できる限り外国語の授業のパターン化をして、担任の授業内容に対する不安を払拭することが必要です。また授業時のクラスルームイングリッシュの引き出しを増やし、使えるようにします。日本語指導については、必要性や魅力を発信し、採用を増やしていきます。											
これまでの課題	ALTや英語活動指導員と担任の連携を図る時間が少なく、授業作りにじっくりと向き合うことができていません。日本語指導については、児童生徒の増加に伴い、指導できる先生を確保することが必要です。	R5からR6年度の取り組み			研修会でALTや英語活動指導員のスキルアップをすることは、普段の授業作りへのアドバイスを行うことを心掛けていきます。日本語指導については、採用の枠を増やし、児童生徒の増加に対応します。											
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
60	情報化社会への対応(指導課)	今後予想されるICTの進展に対応するため、新しい機器の調査研究に努め、更なる環境の充実に努めます。また同時にネットモラルに係わる指導も適切に行います。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標		
教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)		1	1	1	1	1	学校及び家庭での端末利用率(%)			100	100	→	→	→		
R4年度の現状	夏にアクセスポイント等の増築及び幹線の増強、インターネット回線を2本に増強する対策を行い、円滑な学習や業務の運用をすることができました。端末の活用は、学習指導での教材提示や児童生徒同士による共有・比較、オンラインによる学校行事の配信等、多岐にわたるものになりました。	課題解決のための改善策			情報活用能力の向上や、情報モラルを高めるために、教職員に対する研修を行った、情報モラル教育のカリキュラム作成を進めていきます。											
これまでの課題	端末の利活用が向上したことにより、情報活用能力の向上や、情報モラルを高める必要性があります。	R5からR6年度の取り組み			今後も端末の利活用の向上を図りつつ、端末の保守や管理、ヘルプデスクの構築、ICT支援員による教員への支援、ICT機器を活用した授業改善や業務改善などを実施していきます。											
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
★61	特別支援教育(指導課)	障害のある児童生徒一人ひとりの個性や能力を一層伸ばせるよう、交流教育を積極的に進めます。また、市のカウンセラーや関係機関と連携しながら障害の程度や本人・保護者の願いに沿った就学相談を行い、フォローをしっかりと進めます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標		
就学相談件数		413	401	→	→	→	面談を重ね、本人・保護者の願いに沿った就学相談につなげた割合(%)			100	100	→	→	→		
R4年度の現状	障害のある児童生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばせるよう教育環境の充実に努めました。より良い就学相談の在り方を目指して業務内容について見直しを図ってきました。	課題解決のための改善策			令和4年度より始めた流山市就学説明会は、令和5年度は昨年を上回る人数の出席がありました。就学相談を希望している保護者の把握及びスムーズな就学相談を進めます。											
これまでの課題	児童生徒の増加に伴い相談件数が多くなってきています。スムーズに就学相談を行っていくことが課題です。	R5からR6年度の取り組み			障害のある児童生徒に対して、個に応じた教育課程を編成していきます。カウンセラーや関係機関との連携を深め、より適切な就学相談を目指します。											
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
62	世代間交流(高齢者支援課・保育課)	【高齢者支援課】地区社会福祉協議会、高齢者ふれあいの家等地域において、高齢者と子どもたちとの交流の場の拡大を図ります。世代間交流を通じて、子どもが高齢者と触れ合うことにより、高齢者の生きがいの創出及び子どもの「高齢者を大切にする気持ち」「人のことを思いやる気持ち」を育みます。 【保育課】核家族化が進む中、世代間交流及び地域交流を行うことにより、世代間の隔たりをなくし、子育ての良き理解者を増やすことに努めます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標		
地区敬老行事参加者【高齢者支援課】		9,715	10,000	10,000	11,000	12,000	ふれあいの家での高齢者と子ども達の交流(延実施か所)【高齢者支援課】			61	69	70	70	70		
R4年度の現状	各市区社会福祉協議会から実績の提出が遅れているため、集計できず未記入。 新型コロナウイルスの影響により、休止していた世代間交流を再開する地区社会福祉協議会やふれあいの家がありました。【高齢者支援課】 新型コロナウイルスの影響もあり、世代間交流、地域交流をすることはできませんでした。【保育課】	課題解決のための改善策			流山市ボランティアセンター等と協力し、活動を実施する人員の確保に努めます。【高齢者支援課】											
これまでの課題	高齢化に伴い活動を行う人員が不足しています。そのため、活動を行う人員を確保することが必要です。【高齢者支援課】 コロナ禍において他者と交流することは難しい状況でした。【保育課】	R5からR6年度の取り組み			ふれあいの家等での世代間交流の場の拡大を図ります。【高齢者支援課】 高齢者団体との交流を検討していきます。【保育課】											

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
63	体験学習の推進 (指導課・公民館・博物館)	<p>【指導課】数多くの体験学習の場を設定し、児童生徒の感性を磨き、情操面を養うことに努めます。</p> <p>【公民館】高校や大学、NPO法人など地域の教育資源を活かし、親子や家族で、達成感が得られるような体験学習の場の創出に努めます。</p> <p>【博物館】博物館子ども教室の内容を充実させて、継続していきます。外部団体等とも協働して、子ども向けの事業を展開していきます。</p>										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
体験学習事業所数【指導課】		175	175	176	176	176	体験学習を含めたキャリア学習を通して満足感を得た児童生徒の割合(%) 【指導課】		70	70	→	→	→
博物館子ども教室【博物館】		174	284	200	↑	↑							
開催回数【公民館】		4	9	↑	↑	↑	延べ参加者数【公民館】		64	125	↑	↑	↑
R4年度の現状	市内中学校6校が職場体験を行うことができました。また小学生は地域の方々とのつながりで体験学習を行うことができました。【指導課】親子チャレンジ教室等の親子や家族を対象とした講座を実施し、体験学習の場の充実に取り組みました。【公民館】新型コロナウイルス感染症の中で、感染対策を実施し、参加人数を抑制した中で、講座を開催することができました。【博物館】					課題解決のための改善策	学校支援コーディネーターの尽力により、地域の体験先事業所を新たに開拓していきます。【指導課】チラシ等を活用し、対象となる親子や家族に講座の情報提供を行っています。【公民館】電話申し込みからネットでの電子申請を導入し、参加申し込みの公平性を図ります。【博物館】						
これまでの課題	地域によって体験先が少ない、受け入れが難しい等の差が生じています。【指導課】情報提供が不足していた講座があったため、参加申し込み人数が少ない事業もありました。【公民館】感染症の影響により、参加者数を制限することとなり、参加を断るケースが見られました。講座以外で体験ができる方法の構築が必要となっています。【博物館】					R5からR6年度の取り組み	市内中学校7校で職場体験を行う予定があります。また各校で、職業に関する講話や体験を行い、さらなる体験活動の充実を図っていきます。【指導課】親子や家族を対象とした講座を充実させるよう、企画していきます。【公民館】アフターコロナの中で、多くの子どもの参加できるように参加者数を増やしていきます。【博物館】						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
★64	絵本のふれあい体験の支援 (図書館)	乳幼児や保護者、子育てにかかわる方が、絵本を通してふれあう場をつくることで、これからの子育てに役立つように支援します。また、ブックスタート関連事業「おはなし しゅっぱつしんこう!」として、乳幼児がいつでも、どこでも、色々な絵本を楽しめるように、子育て関連施設へ乳幼児向けおすすめ本セットを設置していきます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
ブックセット設置施設数		14	14	14	↑	↑	図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数		15,648	16,570	21,907	↑	↑
絵本の購入冊数		924	922	922	↑	↑							
R4年度の現状	市内に新設された子育て関連施設12施設(保育園9施設、小規模保育室2施設、児童センター1施設)及び障害児通所支援事業所2施設にブックセットを設置しました。					課題解決のための改善策	ブックセットを既に設置した子育て関連施設を対象にアンケートを実施した結果、子どもの読書環境の整備に対する継続的な支援を求める要望が多かったため、令和2年度に実施したブックセット第2便を未設置の子育て関連施設に設置する予算を計上しました。配慮を必要とする子どもへの取組として、「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、設置しているブックセットの対象に障害児通所支援事業所を含め実施していきます。						
これまでの課題	配慮を必要とする子どもへの取組として、「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、設置しているブックセットの対象に障害児通所支援事業所を含め実施していきます。ブックセットを設置済みの子育て関連施設に対する支援をどのように継続していくかが課題です。					R5からR6年度の取り組み	新設の子育て関連施設や障害児通所支援事業所にブックセットを設置するほか、令和2年度に実施したブックセット第2便を未設置の子育て関連施設に設置します。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
65	文化・芸術活動の支援 (公民館・生涯学習課・図書館)	<p>【公民館】地元の文化諸団体の発表の場として、さらに、全国で活躍されているアーティストを招へいし、芸術文化に触れることができる場として、ホールの活性化に努めます。</p> <p>【生涯学習課】子どもたちの文化・芸術活動を活性化するため、市内の文化・芸術活動団体と協働して活動成果を発表する場の提供に努めます。</p> <p>【図書館】ブックスタート関連事業の拡充事業として、乳幼児向け「赤ちゃんおはなし会」を実施し、絵本の他にわらべうたを通じて乳幼児と楽しくコミュニケーションを行う機会を増やします。また、南流山地域図書館は、子育て支援施設との複合施設になるため、この特性を活かし事業拡充を進めていきます。</p>										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標			
活動成果を発表する場の確保 【生涯学習課】		2	3	↑	↑	↑	図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数【図書館】		15,648	16,570	21,907	↑	↑			
赤ちゃんおはなし会の実施回数 【図書館】		38	58	60	↑	↑	参加者数【公民館】		355	578	↑	↑	↑			
赤ちゃんおはなし会の参加人数 【図書館】		326	680	900	↑	↑										
R4年度の現状	<p>新型コロナウイルス感染症をいっつつ、大友剛氏等のプロの音楽家を招へいし子育てコンサートを実施しました。またLINE公式アカウント「ながれやま子育てチャンネル」等を活用しての広報活動を行い、令和3年度に比べ参加者数が増加しました。【公民館】市役所1階の「市民ギャラリー」において、8月1日から8月31日まで「市内中学校生徒作品展」を、令和5年3月6日から3月30日まで「流山少年少女俳句大会入選者作品展」を実施しました。また、11月23日に文化会館で開催した「青少年健全育成推進大会」(流山市青少年育成会議主催)において、市内小学校音楽部に出演機会を提供しました。【生涯学習課】</p> <p>中央図書館、サンコーテクノプラザ南流山地域図書館(令和4年4月から10月までは南流山分館として実施。同年12月開館)、森の図書館、おたかの森こども図書館で、新型コロナウイルスの感染防止対策を取りながら赤ちゃんおはなし会を実施しました。【図書館】</p>						課題解決のための改善策		引き続き広報等を活用し、事業の情報提供を行っていきます。【公民館】小・中学校並びに文化・芸術活動団体と連絡・調整しながら、事業を実施します。【生涯学習課】参加人数に定員を設ける等の新型コロナウイルスの感染防止対策を取りながら、赤ちゃんおはなし会を実施します。【図書館】							
これまでの課題	<p>新型コロナウイルス感染症対策にて、事前申込みで定員を制限した事により、参加者をお断りしていました。【公民館】学校行事に影響しない範囲内で、事業への参加を依頼する必要があります。【生涯学習課】</p> <p>新型コロナウイルスの感染防止対策を取りながら、赤ちゃんおはなし会を実施する必要があります。木の図書館では、会場が狭いため対策が難しく、実施することができませんでした。【図書館】</p>						R5からR6年度の取り組み		引き続き地元の文化諸団体の発表の場として、アーティストを招へいしホール事業の活性化に努めます。【公民館】引き続き、子どもたちが活動成果を発表できる場の提供に努めます。【生涯学習課】引き続き、赤ちゃんおはなし会を開催し、言葉や絵本への興味を育む機会の充実に努め、乳幼児向けの読書活動をより一層推進していきます。【図書館】							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
66	各種スポーツ・レクリエーション大会・教室 (スポーツ振興課)	今後も各種スポーツイベントを実施し、子どもたちがいつでもどこでもスポーツに親しめる環境づくりを継続します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標			
コミュニティスポーツフェスティバル、コミュニティスポーツのつどい、流山市スポーツレクリエーション祭、流山ロードレース大会(ファンラン含む)の参加者数(合計)		1,231	2,975	→	→	→	スポーツで健康・体力の維持・増進を行っている市民の割合(%)		35	32	↑	↑	↑			
R4年度の現状	<p>コロナ禍において中止していた、コミュニティスポーツフェスティバルや流山ロードレース大会などの市内各種イベントを開催し、アフターコロナを見据えた市内スポーツ振興に寄与することができました。</p>						課題解決のための改善策		イベント開催にあたり、多くの参加者を募るための周知方法やアフターコロナにおける運営方法を検討します。							
これまでの課題	令和4年度は、コロナ禍において中止していた市内各種イベントを開催しましたが、参加者数がコロナ禍以前よりも減少していることが課題となりました。						R5からR6年度の取り組み		新型コロナウイルス5類移行に伴い、人数制限等の様々な制限が撤廃される中で、市民が様々なスポーツを楽しむ機会を提供し、市内におけるスポーツ機運の向上に取り組んでいきます。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
67	学童クラブと保育所の交流 (保育課・教育総務課)	【保育課】【教育総務課】保育所から小学校進学に伴う学童クラブへの円滑な移行を図るため、必要な情報交換・交流を行います。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標			
R4年度の現状							課題解決のための改善策		どのような情報共有や交流が出来るかを検討していきます。【教育総務課】							
R5からの課題		<p>保育時間帯に違いがあること、コロナ禍にあることなど交流が難しい状況にあります。【保育課】</p> <p>対象年齢、保育時間、運営方法の違い、個人情報の問題等があり、交流や情報共有が難しい状況にあります。【教育総務課】</p>						R5からR6年度の取り組み		対象年齢や保育時間帯の相違があることから、どのような事柄について情報交換していくかを検討します。【保育課】引き続き交流の強化、情報共有、連携強化に努めます。学童クラブ園庭の開放を今後も実施します。【教育総務課】						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
68	私立幼稚園への支援(保育課)	私立幼稚園との情報共有や市民への園情報の提供などを行い、私立幼稚園を支援し、園との連携を深めます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
R4年度の現状	AED設置事業補助金や心身障害児指導補助金等の支援を行いました。					課題解決のための改善策							
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み		引き続き補助金等の交付を行います。					
(4)家庭の教育力の向上													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
★69	家庭教育講座(公民館)	親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身につけられるよう、専門の講師による講座等を開催します。さらに、企画運営への市民の参加を推進します。 ・乳幼児期の家庭教育講座										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
小中学校の講座実施回数		13	16	↑	↑	↑	小中学校の講座参加者数		2,453	2,050	↑	↑	↑
乳幼児期の講座実施回数		54	53	↑	↑	↑	乳幼児期の講座参加者数		1,063	1,238	↑	↑	↑
R4年度の現状	令和3年度同様、新型コロナウイルス感染症のため、実施出来ない学校もありましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症に注意しつつ、実施回数を増加しました。乳幼児期の講座は、令和3年度に比べ実施回数は減少しましたが、参加者数は増加しました。					課題解決のための改善策		新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、引き続き市内各小中学校のPTAから選出された家庭教育準備委員と生涯学習専門員が講座を企画・運営し、親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身につけられるよう、専門の講師による家庭教育講座を開催します。また、乳幼児の講座を企画し、充実させるよう努めます。					
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症により、家庭教育講座が実施出来ない学校がありました。また、乳幼児期を対象とした講座は実施回数が減少しました。					R5からR6年度の取り組み		新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、引き続き市内各小中学校のPTAから選出された家庭教育準備委員と生涯学習専門員が講座を企画・運営し、親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身につけられるよう、専門の講師による講座等を地域の公民館等を利用できるような提案し開催します。また、乳幼児期の講座の充実を図るため、講座の開催数の増加に努めます。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
70	子育てサロン(公民館)	乳幼児期の子どもを持つ方の交流の場を提供します。保育ボランティア、地域ボランティア等の協力により事業を展開します。 ・双子や三つ子のために「さくらんぼくらぶ」を実施 ・子育てサロンの実施										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
開催回数		34	33	→	↑	↑	延べ参加者数		499	484	↑	↑	↑
R4年度の現状	令和3年度同様、新型コロナウイルス感染症対策として、事前申込みで定員を制限して開催しました。					課題解決のための改善策		引き続き、流山市のホームページ及び公式LINE「ながれやま子育てちゃんねる」を活用し、参加者に周知だけではなく、参加者を増やす事も取り組んでいきます。					
これまでの課題	定員による制限を行ったため、参加をお断りする事もありました。					R5からR6年度の取り組み		引き続き、流山市のホームページ及び流山市公式LINE「ながれやま子育てちゃんねる」を活用し、参加者に周知だけではなく、参加者を増やす事も取り組んでいきます。					

(5)地域活動の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価		
71	地域子ども活動の支援 (生涯学習課)	青少年健全育成団体による事業を通して、子ども同士や子どもと地域の方々の交流が図れるよう、各種団体の活動を支援します。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
青少年健全育成補助金交付団体数		4	4	→	→	→							
R4年度の現状	国立信州高遠青少年自然の家で実施した「チャレンジキャンプ(2泊3日)」をはじめ、創作・野外活動を行う「めざせ!あそびの達人(全8回)」、学校や学年が異なる子ども同士が交流する「チャレンジゲーム」や「親子たこあげ大会」など、青少年健全育成団体の活動を支援するため補助金を交付しました。						課題解決のための改善策		各種団体の活動を支援するため、引き続き補助金を交付します。				
これまでの課題	子育て世代が増加する中、各種団体の活動を継続的に支援する必要があります。						R5からR6年度の取り組み		青少年健全育成団体の活動に補助金を交付するとともに、広報ながれやま及び市ホームページで各種イベントの開催情報を広く市民に周知します。				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価		
72	ボランティアの育成・推進 (生涯学習課・コミュニティ課)	【生涯学習課】中学・高校生を中心としたジュニアリーダーを育成している子ども会育成連絡協議会の活動を支援します。 【コミュニティ課】市民活動団体の運営・活動の支援に努めます。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
市民活動団体の相談件数 【コミュニティ課】		20	602	↑	↑	↑	市民活動推進センターの団体登録件数 【コミュニティ課】		203	224	↑	↑	↑
ジュニアリーダー初級講習会募集人数(人) 【生涯学習課】		30	30	→	→	→	ジュニアリーダー初級講習会参加人数(人) 【生涯学習課】		28	24	→	→	→
R4年度の現状	子ども会育成連絡協議会の活動を支援するため補助金を交付し、団体が主催する研修会等を通じて、中学・高校生を中心として児童健全育成の分野で活動するジュニアリーダー(ボランティア)の育成を推進しました。【生涯学習課】 市民活動団体の活動拠点である市民活動推進センターについては、令和4年度より、新たに街活性至株式会社が受託者として運営を行いました。基本業務を滞りなく進行するだけでなく、登録団体の紹介・マッチングに重点を置き活動しました。【コミュニティ課】						課題解決のための改善策		引き続き、子ども会育成連絡協議会の活動を支援します。【生涯学習課】 令和5年4月に交流サロンの改修を行い、居心地の良い空間・足を運びたくなる空間の創出を行うことで、より多くの相談件数・登録団体件数の上昇に努めます。【コミュニティ課】				
これまでの課題	市民活動推進センターの年間の利用者数は、延べ12,167人、相談件数602件で、飛躍的に向上しました。また、センター主催講座「ながスク」を創設し、28回開催・延べ156人が参加しました。交流サロンの改修など効果的な投資を実現することが年度内に実施することが出来ず、今後の課題と認識しています。【コミュニティ課】						R5からR6年度の取り組み		子ども会育成連絡協議会の活動に補助金を交付し、地域社会において、児童健全育成の分野で活動するジュニアリーダー(ボランティア)の育成の推進を支援します。【生涯学習課】 相談対応及びアウトリーチによる団体活動サポートは前年度を踏襲しつつ、企業・学校との協働など、企業と団体・学校と団体・団体と団体など横の結びつきをサポートする活動をより一層強化し、地域活性に取り組んでまいります。【コミュニティ課】				

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価					
73	少年スポーツ団体の育成(スポーツ振興課)	子どものスポーツを通じた体力の向上と仲間作りのため、指導者、団体の育成を図ります。(少年野球連盟・少年サッカー連盟・スポーツ少年団)また、ジュニアスポーツ団体指導者は毎年入れ替わることから、今後もジュニア期の正しいトレーニング方法の普及に努めていきます。										A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標		
少年スポーツ指導者講習会参加者数		60	40	→	→	→	学校開放利用参加者数(人)				443,624	546,559	→	→	→		
R4年度の現状	令和4年度は、ジュニアスポーツ指導の専門家をお招きし、ジュニアスポーツ指導者を対象とした、ジュニア期における正しいトレーニング方法や休息方法についての講習会を開催しました。					課題解決のための改善策					健全なジュニアスポーツ指導者育成の為、学校体育施設利用団体におけるジュニアスポーツ指導者や市内中学校の部活動指導者に参加依頼を送付し、講習会への参加を促します。						
これまでの課題	例年開催しているジュニアスポーツ指導者講習会において、実際に現場で指導に当たっている指導者の方に広く参加していただくことが課題です。					R5からR6年度の取り組み					ジュニアスポーツ指導者の興味を引くような講習内容の検討を行い、より多くのジュニアスポーツ指導者が講習会に参加するよう取り組んでいきます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価					
74	児童館・児童センターの活用(子ども家庭課)	子どもの居場所、遊びの場となる児童館・児童センターにおいて、利用者の意見を取り入れたイベント等を通じての仲間づくりや、また利用したいと思う企画の充実を進めます。また、インクルージョンの考え方を取り入れながら、地域における子育ての支援の拠点となるよう事業推進に努めます。										A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標		
							児童館・児童センター利用者(数)				96,490	143,210	↑	↑	↑		
R4年度の現状	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、初めて来館の親子も自由に遊べる場として「あそびの広場」を実施し、職員も加わり親子の友達づくりのサポートを行いました。また、自宅でも児童館・児童センターの行事に参加できるように、オンライン配信による行事等を行いました。					課題解決のための改善策					児童館・児童センターの事業について、LINEやホームページ等を活用し、周知をはかっていきます。						
これまでの課題	各児童館・児童センターにおいて感染症対策を講じながら、利用者の意見を取り入れたイベント等を実施し、利用者を増やしていく必要があります。					R5からR6年度の取り組み					基本的な感染対策を継続しながら、イベント等を実施していきます。また、引き続き自宅でも児童館・児童センターの行事に参加できるオンライン配信による行事等を企画し、地域における子育て支援の拠点となるように事業の推進に努めます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価					
75	学校体育施設の利用(スポーツ振興課)	子どもの地域活動の場として、校庭、体育館等、学校施設の開放を進めていきます。										A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標		
学校体育施設開放校数		25	26	26	27	→	学校開放利用参加者数(人)				443,624	546,559	450,000	↑	↑		
R4年度の現状	新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながら、学校体育施設開放事業を運営しました。また、令和4年度末には国の動向を踏まえ、感染症対策チェックシートや人数制限の撤廃を行い、アフターコロナを見据えた運営に舵を切りました。					課題解決のための改善策					学校体育施設利用調整会議の際に、利用の際のルールについて周知徹底を行い、安心・安全な利用の継続に努めます。						
これまでの課題	学校体育施設利用の際のルールについて、新旧利用団体問わず、周知徹底させることが課題となります。					R5からR6年度の取り組み					運営方法等に関して適宜、学校と協議を行い、学校開放利用参加者数の増加を目指し、さらなるスポーツの振興に努めたい。						
(6)子どもを取り巻く有害環境対策の推進																	
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価					
76	青少年相談(生涯学習課)	青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、窓口での相談の充実を図ります。※46,52,118に同相談業務を掲載。										A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標		
相談件数(件)		57	55														
R4年度の現状	より多くの市民に相談の機会を提供できるよう、通常の相談(月～金曜日の平日)に加え、休日特別相談窓口(計6日)を開設しました。また、相談窓口を広く周知するため、相談室だより「はなみずき」を新たに発行しました。					課題解決のための改善策					関係諸機関との情報共有を密にし、継続的な支援を目指します。また、相談室だより「はなみずき」や青少年指導センターだよりなどで、相談窓口の更なる周知に努めます。						
これまでの課題	相談者の悩みの解決が図れるよう、関係諸機関との連携を強化していく必要がありました。また、多くの市民に利用してもらえるよう、相談室の周知が必要でした。					R5からR6年度の取り組み					より多くの市民に相談の機会を提供できるよう、相談活動の工夫に努めます。また、関係諸機関への案内だけでなく、案内後の状況についても情報提供をしてもらい、継続的な支援を可能にしています。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
77	街頭補導活動 (生涯学習課)	青少年健全育成及び非行防止のため、地域や子どもたちの実態に合わせ、計画的に適切なパトロールを実施します。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
街頭補導活動実施回数(回)		564	656	→	→	→	街頭補導従事者延べ人数(人)		1,752	1,816	→	→	→
R4年度の現状	新型コロナウイルス感染症の状況に伴う、変則的な学校の開校状況に対応した補導活動を行うことで、青少年が非行化することのないよう早期発見し、注意助言を行いました。	課題解決のための改善策		センターだよりや合同パトロールなどを通じ、市民や学校へ速やかな情報提供を呼びかけます。									
これまでの課題	外部からの情報提供に時間がかかり、緊急の対応が遅れることが多いです。	R5からR6年度の取り組み		効率の良い補導活動を展開することで、活動の周知と青少年の非行防止に努めます。									
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
78	有害図書等の調査 (生涯学習課)	青少年健全育成及び非行防止のため、有害な社会環境の整備を推進し、街頭、店舗等でのパトロールを実施します。 ※79に統合											
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
79	青少年ふれあい運動 (生涯学習課)	青少年健全育成及び非行防止のため、保護者をはじめ市民を対象に啓発を行い、地域・家庭の教育力の向上を図り、同時に関係機関と連携しながら青少年にとって有害な社会環境の浄化を推進します。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
実行委員会・実行活動実施回数(回)		3	3	→	→	→	実行委員会参加人数(人)		453	425	→	→	→
							店舗調査・店舗利用状況調査対象店舗数(店)		99	109	→	→	→
R4年度の現状	昨年度に引き続き、地区活動実行委員会を開催し、青少年の社会環境浄化のため、店舗利用状況調査などの活動に取り組みました。	課題解決のための改善策		各地域に合った活動を地域主体で展開していけるよう、関係機関との連携を強化します。									
これまでの課題	行政主体の活動ではなく、地域を主体とした活動と各地域における活動に対する温度差が課題でした。	R5からR6年度の取り組み		中学校区を中心とした、地域主体の活動の整備を充実させます。									
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
80	青少年主張大会 (生涯学習課)	青少年が日頃考えている抱負や意見を発表し、広く伝えることで、青少年への理解と関心を深めます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
青少年主張大会発表者(人)		9	13	15	→	→	発表者を含む来場人数(人)		0	415	400	↑	↑
R4年度の現状	9月28日、文化会館で「令和4年度流山市青少年主張大会」を開催しました。今年度は、市内中学生10人、高校生3人が参加し、各校の応援生徒など大勢の来場者の前で、日頃考えている抱負や意見を発表しました。	課題解決のための改善策		発表者が在学する市内の中学校及び高等学校等に、当日のライブ映像を配信します。									
これまでの課題	「令和5年度流山市青少年主張大会」は、文化会館ホールの改修工事に伴い生涯学習センターで開催するが、会場の収容人員数が少ないことから、各校の応援生徒の来場なしで開催する。	R5からR6年度の取り組み		同世代の青少年はもとより、一般の方にも青少年への理解と関心を深めていただけるよう、青少年主張大会を継続して開催します。									

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
81	非行防止活動等ネットワークづくり (生涯学習課)	青少年の健全育成及び非行防止を図るために、関係団体の支援及び連携を深めることで、活動の充実を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
学校警察連絡協議会の開催(回)		4	4	→	→	→								
R4年度の現状	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、学校警察連絡協議会を開催し、情報交換や研修会等、協議会の充実を図りました。	課題解決のための改善策				書面開催で対応できる会議等については内容を見直し、情報交換や研修の時間に充てます。								
これまでの課題	コロナ禍により激減した情報交換や研修会等を再開するために、感染症対策等に配慮した新しい形を模索しました。	R5からR6年度の取り組み				状況に応じて、情報交換や研修の機会を増やします。								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
82	青少年育成会議Aの活動支援 (生涯学習課)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">事業番号71に統合</div> 青少年育成会議による様々な活動の支援に努めます。 -青少年健全育成推進大会 -親子たこあげ大会 -青少年健全育成啓発活動※71に統合												



基本目標4 子どもの安全を守る生活環境・体制づくり														
(1)安全なまちづくりの推進														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価			
83	歩道の整備 (道路建設課)	歩行者の安全性向上のため、現在行っている新設・改良工事において歩道整備等を行います。歩道の整備等においては、交通弱者といわれる方々に配慮した道路整備に努めています。									AⓑC・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
歩道整備実績件数(件)		4	0	↓	→	→	快適に移動できる道路網の整備がされていると感じている市民の割合(%)			71	73	↑	↑	↑
R4年度の現状	歩道の整備等においては、交通弱者といわれる方々に配慮した道路整備に努めています。令和4年度の事業実績はありませんが、前ヶ崎交差点(市道250・251号線)改良工事に必要な用地を購入しました。						課題解決のための改善策			歩行者の安全向上のため、新設・改良工事において該当箇所があれば適切に対応していきます。				
これまでの課題	各工事では、学校活動や近隣住民の生活に支障が生じないよう、あるいは最小限に留められるよう、最大限配慮する必要があります。						R5からR6年度の取り組み			令和5年度には前ヶ崎交差点(市道250・251号線)改良工事、鱈ヶ崎(市道107号線)交差点改良工事、令和6年度には三輪野山(市道39016号線)道路改良工事を予定しています。				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価			
84	公共施設の整備 (関係各課)	既存の公共施設については、子どもをはじめすべての市民が安全で利用しやすいよう整備に努めます。また、新たに公共施設を建設する際には、ユニバーサルデザインの観点から建設を推進します。									AⓑC・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
-							市内がバリアフリーだと感じる市民の割合(%) (まちづくり達成度アンケート)			47.8	47.0	↑	↑	↑
R4年度の現状	南流山地域図書館・児童センターの整備において、ユニバーサルデザインに配慮した施設となるよう整備を進めました。						課題解決のための改善策							
これまでの課題							R5からR6年度の取り組み			おおたかの森小学校区の児童数の増加に対応するため、新設小学校を建設するにあたり、ユニバーサルデザインの観点から建設を推進します。				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価			
★85	公園の整備・充実 (みどりの課)	子どもが遊びを通して、健やかに成長できるよう、防犯面にも配慮した公園等の遊び場の整備・充実を図ります。公園施設の長寿命化計画を策定し、公園遊具施設の更新をはじめとした公園等の維持管理を計画的に行います。									AⓑC・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
							公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)			84	81	87	↑	↑
R4年度の現状	既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行いました。また、既存公園の遊具新設・更新を行いました。						課題解決のための改善策			既存公園の安全点検結果を踏まえて、遊具の更新、及び補修を行いました。				
これまでの課題	公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化してきている遊具施設等の更新や補修を計画的に行う必要があります。						R5からR6年度の取り組み			引き続き既存公園の施設の安全点検を行います。また、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の改修を行います。				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価			
86	駅施設の整備 (まちづくり推進課)	鉄道事業者と連携して、駅施設の利便性向上を推進します。									A・BⒸD			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
初石駅施設整備事業(駅東側から改札にアクセス可能とするための駅舎橋上化及び自由通路整備)の事業進捗率(事業費ベース:%)		1	3	35	50	72	公共交通機関の利用について満足と感じる市民の割合(まちづくり達成度アンケート:%)			83.1	83.9	84	85.0	86.0
R4年度の現状	自由通路及び橋上駅舎の実施設設計が完了し、東武鉄道と施行協定締結に向けた協議を行いました。また、工事の支障となる物件の撤去について、権利者と協議を重ね、補償契約を締結しました。 ※令和4年度に全体事業費を増額したため、進捗率をすべて修正しました。						課題解決のための改善策			自由通路及び橋上駅舎の工事着手に向け、東武鉄道と施行協定を締結します。				
これまでの課題	施行協定締結に向けた費用負担割合について、東武鉄道と早急に協議を完了させる必要があります。						R5からR6年度の取り組み			東武鉄道と施行協定を締結し、自由通路及び橋上駅舎の工事に着手します。				

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
87	住環境の整備 (都市計画課・建築住宅課)	良好な住環境の維持、形成を図るため、地区計画や建築協定など、住民主体によるまちづくりを推進します。【都市計画課】 建築協定の締結に向けて協議をしていきます。【建築住宅課】										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	
							良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)				83.8	84.3	77.0	77.5	78.0	
R4年度の現状	地区計画や地区街づくり計画の手続きなどの運用により、住民主体による街づくりを推進しました。【都市計画課】 地区計画や地区街づくり計画、建築協定の手続きなどの運用により、住民主体による街づくりを推進しました。【建築住宅課】						課題解決のための改善策		窓口において案内資料等を用いて迅速かつ丁寧な説明を心掛けます。また、届出等の手続きについては、郵送で行うことも可能とするなど、状況に応じて柔軟な対応ができるよう努めます。【都市計画課】【建築住宅課】							
これまでの課題	関係法令及び条例に基づく届出等について、指導及び審査業務の効率化が求められています。【都市計画課】【建築住宅課】						R5からR6年度の取り組み		景観シンポジウムを開催し、市民等が景観を形成する主体として、自らの果たすべき役割について理解を深め、興味を抱けるよう啓発を図ります。【都市計画課】【建築住宅課】							
(2)安心して外出できる環境の整備																
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
★88	防犯対策の充実 (コミュニティ課)	防犯対策及び防犯の広報・啓発に努めます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	
市内の防犯カメラ設置数(台)		115	135	135	155	175	刑法犯認知件数(件)				778	807	750	750	750	
自主防犯パトロール隊の組織数(団体)		72	73	73	74	75										
R4年度の現状	防犯カメラの必要な箇所を警察と協議後に設置し、地域の犯罪抑止に努めました。市民安全パトロール隊や自主防犯パトロール隊と協力し、地域の見守り活動に努めました。						課題解決のための改善策		新設した自治会に自主防犯パトロール隊が設立できるように努めます。							
これまでの課題	自主防犯パトロール隊の設立や加入数を、今後どのように増やしていくかが課題となっています。						R5からR6年度の取り組み		今後も犯罪抑止のため必要な箇所に防犯カメラを設置していきます。また、警察や関係機関と連携し、地域の見守り活動を継続して行い犯罪被害の未然防止に努めます。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
89	防犯灯の整備 (コミュニティ課)	防犯灯を整備し、夜間における通行者の安全確保に努めます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	
新規設置防犯灯数(灯)		403	105	400	400	400	刑法犯認知件数(件)				778	807	750	750	750	
R4年度の現状	各自治会へ防犯灯の新規設置及び不具合の際の連絡方法等を記載した防犯灯マニュアルを作成・配布し、各自治会のご協力のもと防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合への対応を行うことができました。						課題解決のための改善策		市民等からの情報を元に、老朽化や腐食が進んだ支柱や故障等により不点灯となった防犯灯については随時交換していきます。							
これまでの課題	平成27年度にLED灯へ一括交換した防犯灯が今後、故障等により不点灯となることが課題となっています。						R5からR6年度の取り組み		防犯灯マニュアルに基づき自治会のご協力をいただきながら防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合への対応を行います。							
(3)子どもの交通安全を確保するための活動の推進																
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
90	通学区域内の交通安全施設整備 (道路管理課・学校教育課)	通学路における危険箇所の改善や安全施設の設置等、交通安全対策を図ります。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	
通学路合同点検箇所数 【道路管理課・学校教育課】		93	88	↓	↓	↓										
R4年度の現状	例年5月に実施している通学路合同点検に加え、8月に南流山中転移に伴う通学路点検を実施しました。【道路管理課・学校教育課】						課題解決のための改善策		通学路の危険な箇所について関係機関の現地点検を行い、路面標示や車止めポスト等の安全施設の新設・補修を行いました。【道路管理課】 警察、道路管理課など関係機関と現地点検を行い、児童生徒が安全安心に登下校できるように対策を講じました。【学校教育課】							
これまでの課題	各学校から通学路における危険箇所を集約し、通学路安全対策推進会議にて危険箇所について協議し決定します。【道路管理課・学校教育課】						R5からR6年度の取り組み		引き続き、通学路の危険箇所の改善と安全施設の新設及び維持管理を行います。【道路管理課】 令和6年4月開校の市野谷小学校及び南流山第二小学校の通学路の安全対策を講じていきます。【学校教育課】							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
91	交通安全教室の充実 (道路管理課)	幼稚園・保育所、小学校等において交通安全教室を開催し、交通事故防止に努めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
交通安全教室の開催件数		0	7	↑	↑	→								
交通安全啓発DVDの貸出件数		6	6	↑	↑	→								
R4年度の現状	新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことから、昨年0回であった交通安全教室が7回開催することができました。交通安全教育DVDの貸し出しも併せて行いました。					課題解決のための改善策		広報への掲載やホームページの改訂により、申請方法をわかりやすくし、多くの施設で交通安全教室が開催できるように努めます。						
これまでの課題	開催申請の方法がわからないとのお問い合わせがありました。					R5からR6年度の取り組み		交通安全教室の開催や交通安全啓発のDVDの貸し出しを充実させ、交通事故防止に努めます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
92	チャイルドシートの貸出 (道路管理課)	チャイルドシート・ジュニアシートを貸出し、車両乗車中の交通事故による被害の軽減に寄与します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
チャイルドシート稼働率(乳幼児用)		33	39	→	→	→								
チャイルドシート稼働率(児童用)		58	38	→	→	→								
R4年度の現状	乳幼児用チャイルドシートの貸し出しは、毎月30～40%前後の稼働率で推移し、乳幼児の安全確保に努めました。					課題解決のための改善策								
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み		引き続き、チャイルドシートやジュニアシートを貸し出し、車両乗車中の交通事故による被害の軽減に寄与します。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
93	交通安全教室の普及・啓発 (道路管理課)	市内小中学校を対象に、交通安全意識の向上を図ります。また、新1年生を対象に、ランドセルカバーを配布する等、普及・啓発に努めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
ランドセルカバー配布枚数		2,650	2,600	→	→	→								
R4年度の現状	年4回開催されている交通安全期間を中心に、啓発活動を行いました。また、新1年生を対象にランドセルカバーを配布いたしました。					課題解決のための改善策		流山警察や交通安全協会をはじめとする関係団体と協力しながら幅広く啓発活動を行い、交通安全意識の向上を図ります。						
これまでの課題	前年度と比較すると啓発活動を行いましたが、未開催となったイベント等があり、十分な啓発活動が行えませんでした。					R5からR6年度の取り組み		引き続き小中学生に対し広く交通安全意識の向上を図れるよう、より効果の高い啓発活動を実施していきます。特に入学したばかりの新1年生に対しては、交通安全教室等を通じて、交通安全意識の普及・啓発に努めます。						
(4)子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
★94	関係機関、団体との情報交換 (コミュニティ課・保育課)	【コミュニティ課】子どもたちが事故や犯罪に遭わないまちづくりを推進するため、防犯灯の設置、警察、学校、自治会等関係機関・団体と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実を努めます。 【保育課】子どもの安心安全の確保を図るため関係機関との連携を強めていきます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
新規設置防犯灯数(灯) 【コミュニティ課】		420	105	400	400	400	刑法犯認知件数(件) 【コミュニティ課】			778	807	750	750	750
流山市学校警察連絡協議会(回) 【コミュニティ課】		4	0	0	0	0								
R4年度の現状	子どもたちが事故や犯罪に遭わないまちづくりを推進するため、防犯灯の設置をしました。その他、警察、学校、自治会等関係機関・団体と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実を努めました。【コミュニティ課】					課題解決のための改善策		市民等からの情報を元に、老朽化や腐食が進んだ支柱や故障等により不点灯となった防犯灯については随時交換していきます。【コミュニティ課】						
これまでの課題	平成27年度にLED灯へ一括交換した防犯灯が今後、故障等により不点灯となることが課題となっています。【コミュニティ課】					R5からR6年度の取り組み		引き続き関係機関と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実を努めます。【コミュニティ課】 子どもの安心安全の確保を図るため、引き続き関係機関との連携を強めていきます。【保育課】						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
95	安全マップ等の作成(指導課)	安全マップや通学路マップ等を作成し、子どもが安心・安全に生活できるよう情報提供を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
地域マップ・危険箇所マップ作成数		26	27	27	27	27	地域マップ・危険箇所マップ作成数			26	27	27	27	27
R4年度の現状	安全マップ、通学路マップは、各学校で地域の実情に応じて作成し、安全教育に利用しました。					課題解決のための改善策		安全マップ、通学路マップは、各学校で地域の実情に応じて作成し、安全教育に利用しました。						
これまでの課題	各学校で作成したマップは、地域にも周知し、安全・防災に活用することが課題です。					R5からR6年度の取り組み		安全マップや通学路マップを作成し、児童生徒・地域に周知して安全・安心の学校作りに役立てます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
96	自主防犯活動の支援(コミュニティ課)	各自治会等で実施する防犯活動や地域に設立された自主防犯パトロール隊の活動を支援します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
防犯啓発用品購入費(円)		628,111	620,431	650,000	650,000	650,000	刑法犯認知件数(件)			778	807	750	750	750
R4年度の現状	装備品の貸与と支援を行っている自主防犯パトロール隊の活動により、市内の刑法犯認知件数は減っており、効果がみられます。					課題解決のための改善策		自主防犯パトロール隊への支援として貸与する装備品等については、限られた財源の中で費用対効果が高く、使い勝手の良い装備品を検討していきます。						
これまでの課題	各自治会や自主防犯パトロール隊ごとの支援ニーズが多様化してきています。					R5からR6年度の取り組み		引き続き、自主防犯パトロール隊への支援として装備品を貸与します。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
★97	安全管理の促進(コミュニティ課・保育課・指導課)	【コミュニティ課】市民の安全管理を図るため、啓発活動を推進します。(安心メールの発信・犯罪発生状況の提供) 【保育課】子どもの安全管理を促進するために、職場内研修を定期的実施し、職員と保護者・関係機関との情報共有に努めます。 【指導課】様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、学校等への啓発活動を実施します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
安心メール(防犯)配信実績(件)【コミュニティ課】		118	114	90	90	90	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%)【まちづくり達成度アンケート】【コミュニティ課】			63.1	62.4	61.0	61.0	61.0
R4年度の現状	警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況等を安心メールで配信したほか、各自治会へ回覧依頼し、犯罪防止に努めました。【コミュニティ課】 災害に備え定期的に避難訓練や不審者等に対応するための職場内研修を実施しました。【保育課】 児童生徒の安全を確保するために、学校等へ安全管理の啓発を行いました。【指導課】					課題解決のための改善策		安心メールの登録推進について、市内公共施設へチラシの配架や登録相談会を実施すること等により登録推進に努めます。【コミュニティ課】 様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、学校等への啓発活動を行い、迅速に情報を共有します。【指導課】						
これまでの課題	安心メール登録者を今後、どのように増やしていくかが課題となっています。【コミュニティ課】 様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、様々な事象に迅速に対応することが課題です。【指導課】					R5からR6年度の取り組み		警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況などを自治会等へ提供して犯罪防止に努めます。【コミュニティ課】 子どもの安全管理を促進するために、職場内研修を定期的実施し、職員と保護者・関係機関との情報共有に努めます。【保育課】 様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、学校等への啓発活動を行い、迅速に情報を共有します。【指導課】						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
98	防犯体制の充実 (コミュニティ課)	流山警察署をはじめとする関係機関及び防犯団体等と連携し、防犯体制の充実を図ります。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
防犯協定(新規締結)事業者数		1	0	1	1	1	刑法犯認知件数(件)		778	807	750	750	750
自主防犯パトロール隊の組織数(団体)		72	73	73	74	75							
R4年度の現状	業務で市内を循環する事業者と警察との防犯協定の締結など、地域防犯力の向上のため様々な取り組みを実施しましたが、刑法犯認知件数は29件増加しました。					課題解決のための改善策		新設した自治会に自主防犯パトロール隊が設立されるよう啓発・情報提供に努めます。					
これまでの課題	自主防犯パトロール隊の設立や加入数を、今後どのように増やしていくかが課題となっています。					R5からR6年度の取り組み		警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況などを自治会等へ提供して事業の継続を図り、犯罪防止に努めます。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
99	防犯に関する普及啓発活動 (コミュニティ課)	安心メール等を活用し、防犯の啓発を行います。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
安心メール登録者数(実人数)		41,025	40,910	42,610	44,310	46,010	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%) (まちづくり達成度アンケート)		64.0	62.4	65.0	65.0	65.0
R4年度の現状	広報への掲載、各公共施設および福祉施設へのチラシの配架、安心メール登録相談会の実施、職員への周知等を実施した。					課題解決のための改善策		安心メールの登録推進について、市内公共施設へチラシの配架や出張登録会及び登録相談会を実施することにより登録推進に努めます。					
これまでの課題	安心メール登録者数を今後、どのように増やしていくかが課題となっています。					R5からR6年度の取り組み		引き続き、安心メールのチラシ配布の継続、出張登録会及び登録相談会での安心メール登録方法の説明、防犯協定事業者との安心メール周知に努めます。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価	
100	保護者・地域との連携による防犯活動 (指導課)	保護者や地域、学校が連携し、登下校の見守りを行うなど、子どもたちの安全を守る活動を推進します。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
地域学校協働本部の数		9	10	10	10	10	登下校の見守り活動		↑	↑	↑	↑	↑
R4年度の現状	各中学校区に設置されている地域学校協働本部に登録されている学校サポートボランティアが、登下校の見守りを行っています。					課題解決のための改善策		令和3年度より、中学校区ごとにコミュニティ・スクールの導入が始まっているので、学校運営協議会にて、登下校の安全についても議論していただくとともに、地域学校協働本部との連携も推進していきます。					
これまでの課題	登下校の見守り活動については、人員の確保が課題となっています。					R5からR6年度の取り組み		地域や関係機関と学校が連携し、登下校の見守り活動を行います。					

基本目標5 男女がともに仕事と子育てを両立できる環境づくり														
(1)多様な働き方のできる環境の整備														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価			
101	就労環境改善への支援 (商工振興課)	少子高齢化に伴う労働力不足を補うために必要な短時間労働や在宅ワークをはじめとする国の制度改革を促進させるため、事業者への周知に努めます。									AⓑC・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
R4年度の現状							課題解決のための改善策			国などで実施する「働き方改革」への支援や各種情報について、ホームページ等で引き続き周知に努めます。				
これまでの課題		新型コロナウイルス感染症が長期化したことで、テレワークやデジタル化など非接触型の働き方を導入する企業が増えました。それにより、仕事と生活が両立ができるワークライフバランスへの配慮が必要となります。				R5からR6年度の取り組み		引き続き国の支援等をはじめ、各種情報をホームページ等での周知に努めます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価			
102	就職情報の提供 (商工振興課)	ハローワークとの連携により、生活安定のための必須施設として利用促進に努めます。									AⓑC・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
相談室利用件数		3,779	3,146	3,700	3,700	3,700	就職件数			257	262	250	250	250
職業紹介件数		1,687	1,232	1,700	1,700	1,700								
R4年度の現状		新型コロナウイルス感染症に収束の兆しが見え、国内の経済社会活動は徐々に活発化し、雇用情勢には総じて持ち直しの動きが見られました。				課題解決のための改善策		新型コロナウイルス感染症の収束に期待する一方、世界情勢、円安、物価高による影響など企業等の採用活動に影響を及ぼす問題がありますが、今後の動向を注視し、求職者に対する支援に支障が生じないように努めます。						
これまでの課題		人手不足感が再び高まる中で転職者数が減少する等労働市場には課題が見られます。求職者の就職活動に有用な情報提供が出来るよう、常に企業の動向を注視する必要があります。				R5からR6年度の取り組み		引き続きハローワークと連携を図り、ジョブサポート流山(流山市地域職業相談室)で、求職者への就労支援を継続するとともに、今後の動向に注視して、タイムリーで効果的な支援に努めます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和4年度評価			
103	就職・再就職のための職業研修 (商工振興課・企画政策課)	【商工振興課】働き方改革の進展に伴い、正規雇用化に向けた取り組みや就職困難者及び外国人雇用に関する支援を行うため、体制を強化し、市民が安定した生活を送るための支援に努めます。 【企画政策課】働きたいと考える女性を対象とした、就職・再就職のための講座を開催します。									AⓑC・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
就職個別相談相談者数【商工振興課】		110	105	100	100	100	就職個別相談就職者数【商工振興課】			89	75	80	80	80
女性のキャリア形成支援講座実施回数(回)【企画政策課】		全3回	全4回	2	2	2	女性のキャリア形成支援講座参加人数(人)【企画政策課】			延べ39	延べ83	40	40	40
R4年度の現状		就職個別相談に令和3年度より設置した就職氷河期世代コースを継続して支援に努めました。他に、千葉県ジョブサポートセンターと連携した再就職支援セミナー、ハローワーク松戸等と連携した就職面談会を実施する等して支援に努めました。【商工振興課】予定どおり啓発講座を開催することができました。【企画政策課】				課題解決のための改善策		今後の社会経済の動向を注視し、求職者に対する支援に努めます。【商工振興課】職務や業務に応じた履歴書や職務経歴書の書き方のポイント解説、特にオンライン面接のマナーやポイントについて解説し、事例や参加者の実践の情報交換をしました。【企画政策課】						
これまでの課題		新型コロナウイルス感染症の収束に期待する一方、世界情勢、円安、物価高による影響など企業の採用活動に影響を及ぼす問題があります。【商工振興課】ポストコロナ時代の再就職は、オンライン面接など今までは違ったアプローチの就職活動が必要となっています。【企画政策課】				R5からR6年度の取り組み		どのような環境にあっても就労支援は無くしてはならない事業であることから、引き続き求職者への支援を行うとともに、今後の動向を注視し、タイムリーで効果的な支援に努めます。【商工振興課】再就職に向けての対応だけでなく、自分自身の仕事観や家族の理解の形成に資する講座の開催に努めます。【企画政策課】						

(2)仕事と子育ての両立の推進													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和4年度評価			
104	男女共同参画社会づくり (企画政策課)	男女とも多様な生き方が尊重され、誰もが個性や能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現のため、流山市男女共同参画プランに基づき、施策の展開を図ります。 ・男女共同参画社会づくり啓発講座								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
男女共同参画啓発講座の実施回数(回)		18	17	18	18	18	男女が平等に扱われていると思う市民の割合(%)		43.5	44.0	45.0	45.0	45.0
							審議会等委員に女性委員が占める割合(執行機関を除く附属機関等)(%)		40.4	38.7	40.0	40.0	40.0
R4年度の現状	予定どおり啓発講座を開催することができました。成果指標の男女が平等に扱われていると思う市民の割合は、目標値には届かなかったものの微増になりました。						課題解決のための改善策		改選予定の審議会等の担当課に対し、女性委員の比率向上の具体的な方策を検討する機会を設け、改選後には結果を検証します。				
これまでの課題	令和4年度は、審議会等の女性委員比率が目標値を下回る結果となりました。						R5からR6年度の取り組み		男女共同参画に関する周知啓発を継続するとともに、性別等の違いにかかわらず多様性を理解する普及啓発を行います。また、審議会等委員の女性委員割合の目標値を全庁で共有し、委員選任時には女性比率向上に向けた担当各課での意識的な取り組みを行います。				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和4年度評価			
105	育児への父親の参加 (子ども家庭課・企画政策課・公民館)	【子ども家庭課】父親が育児に参加できる機会を提供するために、今後も父親が参加しやすいイベントを企画します。 【企画政策課】父親が育児の知識や技術を身につける機会を提供するため、各種教室、講座を開催します。また、父親の参加しやすい環境づくりに努めます。 【公民館】父親の育児参加、祖父母の育児参加、地域の子育て力のアップなどを考慮し、講座の企画充実に努めます。								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
男性を対象とした講座実施回数(回) 【企画政策課】		1	全3回	1	1	1	男性を対象とした講座参加人数(人) 【企画政策課】		14	延べ98	14	14	14
開催回数【公民館】		2	2	↑	↑	↑	父親を含む参加者数【公民館】		10	6	↑	↑	↑
R4年度の現状	地域子育て支援センターにおいて、父親も参加できるように、土曜日もフロア開放等を実施しました。【子ども家庭課】令和4年度は父子限定の講座(第3回のみ親子参加)を初めて行いましたが、全3回の講座だったこともあり、父親同士の交流も生まれました。※参加人数は、子と親を含めた延べ人数となっています。【企画政策課】令和3年度同様、パパを対象に子育てパパのセミナーを実施しました。【公民館】						課題解決のための改善策		父親が参加しやすいように、土曜日のフロア開放を実施する施設を増やします。また、イベントは、父親が参加しやすい内容を検討し、実施していきます。【子ども家庭課】広報やホームページ及びチラシに加え、子育て世代向けのSNSを利用し周知を行いました。【企画政策課】チラシ及び公式LINEアカウント「ながれやま子育てちゃんねる」にて、情報提供を行います。また、講座の内容を検討し参加者が参加しやすい内容になるようにします。【公民館】				
これまでの課題	子育て関連イベントは、父親が参加しづらい雰囲気があるので、父親も参加しやすいように、イベント内容等を工夫していく必要があります。【子ども家庭課】令和3年度に初めて父親限定の講座を行ったところ一定の参加者を得ました。令和4年度については、初めての試みとして父子限定の講座を行いました。【企画政策課】講座の参加者が減ってきていることが課題となっています。【公民館】						R5からR6年度の取り組み		引き続き、父親が育児に参加できる機会を提供するために、父親が参加しやすいイベントを企画します。【子ども家庭課】今後も、育児をする父親にとって魅力的な講座を行うとともに、周知方法の拡大を図り、講座参加をきっかけとした子育て世代の繋がりに努めます。【企画政策課】チラシ及び流山市公式LINE「ながれやま子育てちゃんねる」にて、情報提供を行います。また、講座の内容を検討し参加者が参加しやすい内容になるようにします。【公民館】				
(3)保育サービスの充実と多様化													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和4年度評価			
★106	延長保育 (保育課)	就労形態の多様化や、通勤時間の長時間化に対応できるよう、保育時間の延長及び延長保育実施園の拡大を図ります。								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
延長保育を実施している施設数		91	101	100	100	100							
R4年度の現状	延長保育を実施しました。						課題解決のための改善策						
これまでの課題							R5からR6年度の取り組み		新設の保育所について延長保育の実施を推進します。				

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
107	小規模保育 (子ども家庭課)	0歳から2歳までの保育需要の状況を踏まえ、今後も小規模保育事業所の整備を進めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
整備定員数		18	0	-	-	-	待機児童数※翌年度4月1日時点(人)			3	0	0	0	0
R4年度の現状	保育需要の状況を勘案した結果、令和4年度は、小規模保育事業所は整備しませんでした。					課題解決のための改善策		多様な保育ニーズに対応するべく、一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。						
これまでの課題	一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。					R5からR6年度の取り組み		保育需要が変化していることもあり、状況に応じて、小規模保育事業所の整備を検討します。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
108	一時保育 (保育課)	保護者の病気等により、一時的に保育が必要な場合に対応できるよう、一時保育の充実を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
R4年度の現状		一時保育を行う保育所に補助金を交付し、一時保育の充実を図りました。					課題解決のための改善策							
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み		継続して補助金の交付を行います。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
109	産休明け保育 (保育課)	女性の就労の促進を図るため、産休明け保育の充実に努めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
R4年度の現状		令和4年度に開設した新規保育施設の多くが産休明けから受け入れ可能となりました。					課題解決のための改善策							
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み		今後開設される保育施設についても産休明けからの受け入れを働きかけ、保護者の選択肢を増やします。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
★110	病児・病後児保育 (保育課)	病気中及び病気回復期の乳幼児を一時的に預かる事業を推進します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
病児及び病後児保育実施園数		4	3	→	→	→	利用者数(延べ人数)			72	173	→	→	→
R4年度の現状	新型コロナウイルス感染症感染状況を考慮し、預かり対象について段階的に拡大しました。					課題解決のための改善策		令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類へ引き下げされたことに伴い、受け入れ対象を拡大します。						
これまでの課題	預かり対象について段階的に拡大しているものの、新型コロナウイルス感染症感染拡大前の水準には至っていません。					R5からR6年度の取り組み		令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類へ引き下げされたことに伴い、受け入れ対象拡大していきます。						



番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
111	休日保育 (保育課)	社会状況や利用者からの保育ニーズを踏まえ、休日保育の実施を検討します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	
R4年度の現状	認可保育園において休日保育は実施していません。					課題解決のための改善策										
これまでの課題	休日に関与するためには保育士の確保と配置が課題となります。					R5からR6年度の取り組み					利用者からのニーズを踏まえ引き続き検討します。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
★112	障害児保育 (児童発達支援センター・保育課)	【児童発達支援センター】保育所等を利用している子どもやその施設の職員に対して、集団生活適応のため専門のスタッフが直接的、間接的な支援を行います。 【保育課】保育所を利用する園児がお互いの理解を深め協力しながら共に育っていくよう、統合保育や児童発達支援センターにおける保育所等訪問支援事業の推進に努めます。また、医療的ケア児受入体制の整備に努めます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	
児童発達支援センター保育所等訪問支援契約者数		0	0	2	→	→	延べ利用人数				0	0	→	→	→	
統合保育の実施園数【保育課】		1	1	→	→	→										
R4年度の現状	(保育所等訪問支援)児童発達支援センターで相談支援を行ったお子さんの中に、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮した上で、「保育所等訪問支援の利用」という支援方針に該当する方がいませんでした。【児童発達支援センター】統合保育を実施し、保育所を利用する園児と交流し共に育つことができました。【保育課】					課題解決のための改善策					(保育所等訪問支援)お子さんの発達状況、所属する環境等を適切に評価し、効果的な支援につながるよう努めていきます。【児童発達支援センター】					
これまでの課題	(保育所等訪問支援)児童発達支援センターで相談支援を行ったお子さんの中に、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮した上で、「保育所等訪問支援の利用」という支援方針に該当する方がいなかったため、開始に至りませんでした。【児童発達支援センター】					R5からR6年度の取り組み					(保育所等訪問支援)支援の必要なお子さんが保育所等で安心して過ごすことができるよう保育所等訪問支援の適切な利用について周知していきます。【児童発達支援センター】医療的ケア児について受入基準の見直しを行います。【保育課】					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
★113	学童クラブの活用 (教育総務課)	児童の受け入れ体制を拡充します。市主催の支援員研修を開催するほか、各種研修会への参加支援に努め、質の向上を図ります。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	
研修会開催件数		1	2	1	2	2	学童クラブの延べ利用人数				26,499	33,638	30,000	30,000	30,000	
							支援員の処遇改善のために支払った額(千円)				26,992	50,983	27,000	27,000	27,000	
R4年度の現状	令和4年度の学童クラブの延べ利用人数は33,638人で、令和3年度の利用人数26,499人と比較して7,139人増えています。今後も利用人数は増加する見込みです。					課題解決のための改善策					市主催で研修を開催するほか、ベースアップによる処遇改善と、経験等に応じた処遇改善の支払いを行っています。					
これまでの課題	学童クラブに従事する職員の数も増えているため、職員の質と量を確保する必要があります。					R5からR6年度の取り組み					市主催での研修を年2回行うほか、各種処遇改善を行います。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価				
114	子育て短期支援(ショートステイ・トワイライトステイ) (子ども家庭課)	保護者が疾病や出産等により家庭での養育が困難となった場合に、児童を一時的に市が指定する施設で預かります。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	
ショートステイ利用者数(日帰り・夜間)		131	125	→	→	→										
ショートステイ利用者数(宿泊)		67	217	→	→	→										
R4年度の現状	新型コロナウイルス感染症の影響緩和により、令和3年度と比較し利用者数は増加しました。保護者の疾病や出産の利用の他、レスパイトを理由とした対応や休日の仕事等の利用に対応しました。					課題解決のための改善策					ショートステイの手続きがわかりやすくなるように、ホームページ等を活用し、案内を行います。					
これまでの課題	家庭での養育が困難となった方々の支援となるように、手続き等をわかりやすくする必要があります。					R5からR6年度の取り組み					引き続き、家庭で養育が困難となった場合に、宿泊を含めた一時的な預かりの利用に、対応していきます。					

基本目標6 保護が必要な子どもへの支援体制づくり

(1) 児童虐待防止対策の充実

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和4年度評価					
★115	子ども家庭支援拠点(支援拠点事業)(子ども家庭課)	子育てに問題を抱える家庭を支援していくために、専門職を配置した支援拠点の整備に努めます。	A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績 R4実績 R4目標 R5目標 R6目標	主な成果指標		R3実績 R4実績 R4目標 R5目標 R6目標			
心理担当支援員の配置		3 3 4 4 4						
R4年度の現状	心理担当支援員3名体制(会計年度任用職員を含む)で心理アセスメントや、心理的側面から子ども及び保護者の支援を行いました。	課題解決のための改善策	児童虐待予防のため、心理担当支援員による適切な親子関係形成のための支援を図ります。					
これまでの課題	SNSの普及や様々な家庭背景等から、子どもへの適切な関わり方に困難を抱える家庭が増加しています。	R5からR6年度の取り組み	心理担当支援員以外の専門職の配置も図り、様々な課題を抱える家庭の問題に適切に対応できるよう努めます。					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和4年度評価					
116	児童虐待防止の啓発(子ども家庭課・指導課)	【子ども家庭課】児童虐待の早期発見や未然防止を図るため、関係機関の連携を強化し、啓発活動に努めます。 ・パンフレットの配布 ・ホームページ・広報紙等の活用  【指導課】児童虐待の早期発見や未然防止を図るため、学校や保護者への啓発活動に努め、関係機関との連携強化に努めます。	A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績 R4実績 R4目標 R5目標 R6目標	主な成果指標		R3実績 R4実績 R4目標 R5目標 R6目標			
啓発活動の実施(パネル展示)【子ども家庭課】		- 1 → → →						
啓発活動の実施【指導課】		2 2 → → →	学校の虐待対応の迅速化【指導課】		↑ ↑ → → →			
R4年度の現状	児童虐待の早期発見や未然防止を図るため、11月の児童虐待防止推進月間に南流山センターにてパネル展示を行いました。また、関係機関の会議等にて、児童虐待対応について説明し、引き続き協力を依頼しました。【子ども家庭課】 国、県から発出される通知について、学校内で共有し、必要に応じて学校だよりやホームページを通じて情報発信するように各学校に指導しました。【指導課】	課題解決のための改善策	広報紙やホームページ等を活用した啓発活動を行うほか、児童虐待の進行及び未然防止のため関係機関と連携し活動していきます。【子ども家庭課】 要対協での情報共有を大切に、そこで得た情報を早期に対応できるようにします。【指導課】					
これまでの課題	保護者及び関係機関に児童虐待に係る知識等が十分に周知されず、児童への不適切な言動が生じたり、早期介入に至らないケースがあります。【子ども家庭課】 各連携機関との連携を密に図り、情報共有ができる場をより多く作るようにします。【指導課】	R5からR6年度の取り組み	児童虐待の早期発見や未然防止を図るため啓発活動に努めると共に、関係機関との連携を強化するため、児童虐待防止や対応に係る知識・理解の向上を図ります。【子ども家庭課】 虐待を発見しやすい立場にある教職員の「見る目」を養うとともに、虐待が明らかになった場合の関係機関との連携について、日頃から体制を整えていくよう学校に指導していきます。【指導課】					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和4年度評価					
★117	虐待予防と早期発見(健康増進課・子ども家庭課・保育課)	【健康増進課・子ども家庭課】相談、健診、訪問指導等あらゆる機会における児童虐待の予防と早期発見に努めます。また、必要な児童に対しては、関係機関と連携し、支援の強化を図ります。さらに、育児ストレスや産後うつなどにより、子育てに不安を抱える家庭や虐待の恐れのある家庭に対して、保健師等の家庭訪問や、ヘルパーの派遣により、育児負担の軽減等問題の解決を図ります。  【保育課】保育所と関係機関が連携し、今後も未然防止に努めます。	A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績 R4実績 R4目標 R5目標 R6目標	主な成果指標		R3実績 R4実績 R4目標 R5目標 R6目標			
新規児童虐待受付件数【子ども家庭課】		676 978 - - -						
養育支援家庭訪問(実数)【健康増進課】		7 6 → → →	産後7利用者アウトで、利用目的に対する達成が満足とやや満足の回答割合【健康増進課】		91% 98% → → →			
産後ケア利用者数(実数の合計)【健康増進課】		22 57 22 22 22						
R4年度の現状	母子健康手帳交付時に面談し、支援が必要と思われる方に、妊娠初期から支援を行うと同時に、産後ケアや育児支援サービス等の情報提供を行い、育児ストレスや産後うつ等の不安を抱える家庭の児童虐待の予防に努めています。妊娠・育児サポート係を設置し妊娠から出産後も切れ目なく支援できるように体制強化を図りました。また、健診や乳児家庭全戸訪問等で支援が必要な家庭を把握し、養育支援訪問等を実施し育児支援を行っています。【健康増進課】 児童虐待の予防や早期発見のため、健康増進課の定例会議に参加し、家庭状況や支援方針について共有したほか、子ども及び家庭への適切な支援に向け、役割分担を行いました。【子ども家庭課】	課題解決のための改善策	関係機関と連携強化を図り、児童虐待の予防に努めます。引き続き妊娠中から出産後も切れ目のない支援を実施し、より身近な地域で相談、支援が行えるよう、南流山センターに子育てなんでも相談室(子育て世代包括支援センター)を設置し、保健センターと地区を分割して支援していきます。【健康増進課】 児童虐待の予防や早期発見のため、子ども及び家庭に関わる機関・部署と定期的に情報共有し、早期発見・早期対応に努めます。【子ども家庭課】					
これまでの課題	要支援家庭が増加傾向にあるため、必要な時期に切れ目のない支援が実施できるよう、関係機関との連携の強化が必要です。【健康増進課】 児童虐待の予防や早期発見・進行防止のため、より迅速な判断や適切な役割分担が求められるケースが増加しています。【子ども家庭課】	R5からR6年度の取り組み	支援が必要な方を早期に把握し、適切な情報提供や支援を実施するとともに、虐待予防の面から、保健師等の訪問、相談や健診などの各種母子保健事業等を通じて各関係機関との連携に努めます。【健康増進課】 児童虐待の予防や早期発見のため、子ども及び家庭に関わる機関・部署と定期的に情報共有し、早期発見・早期対応に努めます。【子ども家庭課】 緊急で保育が必要な児童について関係機関と協議し、情報共有及び適切な保育の提供に努めます。【保育課】					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
★118	虐待に関する相談の充実 (子ども家庭課・生涯学習課・指導課)	<p>【子ども家庭課】職員等の専門性のスキルアップを図り、家庭児童相談員及びケースワーカーによる児童虐待に関する相談や指導を行いながら、緊急避難体制づくりや啓発事業を推進します。</p> <p>【生涯学習課】青少年相談窓口については、関連団体等の連携に努めます。</p> <p>【指導課】教育相談から得られる情報を関係機関と共有し、相談体制や啓発事業の充実を図ります。</p>										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
児童福祉司資格取得講習受講者数【子ども家庭課】		2	1	1	2	2	児童福祉司任用資格取得者数【子ども家庭課】			5	6	6	7	7
R4年度の現状	県や民間団体が主催する研修・講習会に積極的に参加し、スキルアップを図りました。また、広報紙やホームページを利用し、様々な相談先・方法を案内しました。【子ども家庭課】 教育相談においては丁寧な聞き取りを行い、要保護児童対策地域協議会においては、関係機関との連携強化を図りました。【指導課】	課題解決のための改善策					研修・講習会に積極的に参加し、児童虐待に適切に対応できるよう職員の専門性やスキルアップに努めます。また、広報紙やホームページ等により、相談先を啓発します。【子ども家庭課】 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの情報共有を密にしながらか教育相談を丁寧実施するとともに、要保護児童対策地域協議会での情報を共有し、関係機関との連携を強化しながら適切な対応に努めます。【指導課】							
これまでの課題	SNSの普及や様々な家庭背景等から、子どもや保護者が抱える問題が複雑多岐にわたっています。【子ども家庭課】 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、市教委の情報共有を密に行う必要があります。【指導課】	R5からR6年度の取り組み					研修・講習会に積極的に参加し、児童虐待に適切に対応できるよう職員の専門性やスキルアップに努めます。また、継続的に啓発事業の推進を図ります。【子ども家庭課】 今後も関係機関と情報を共有しながら迅速に対応し、連携をさらに深めながら適切な対応に努めます。【指導課】							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
★119	児童虐待防止のための連携強化 (障害者支援課・健康増進課・児童発達支援センター・子ども家庭課・保育課・指導課)	児童虐待に対応するため、要保護児童対策地域協議会を中心として、民生児童委員、主任児童委員などの地域住民や医療機関、また児童相談所、警察等の関係機関との連携の強化を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
個別支援会議の開催【子ども家庭課】		60	63	↑	↑	↑	児童の安全確認実施率(%)【子ども家庭課】			99	99	↑	↑	↑
要保護児童対策地域協議会への参加【障害者支援課】		12	12	12	12	12	関係機関との連携強化【障害者支援課】			↑	↑	↑	↑	↑
要保護児童対策地域協議会実務者会議等に出席し関係機関との連携をとって情報共有を図ります【児童発達支援センター】		12	12	12	12	12	関係機関との情報共有を図り、児童とその家族への支援の強化【児童発達支援センター】			12	12	↑	↑	↑
要保護児童対策地域協議会の参加回数【健康増進課】		12	12	12	12	12								
子ども家庭課とのケース検討会議の回数【健康増進課】		9	12	12	12	12								
R4年度の現状	要保護児童対策地域協議会に出席し情報共有を図りました。また、関係課と役割分担を行いながら支援しました。【障害者支援課】 要保護児童対策地域協議会や子ども家庭課とのケース検討会議に参加し、情報共有を図り、関係機関との連携に努めました。子ども家庭課との検討会議では、進行内容を見直し、より支援の必要なケースの情報共有や対応の検討ができるようになりました。【健康増進課】 要保護児童対策地域協議会実務者会議等に出席し関係機関との情報共有を図りました。また児童虐待が疑われる当センターを利用している児童について、子ども家庭課と情報共有を図り当該家族の支援に繋がりました。【児童発達支援センター】 児童虐待の通告があった際には、関係機関の協力のもと速やかに児童の安全確認を行いました。また、要保護対策地域協議会での個別支援会議や関係機関への訪問等により、子どもや保護者等と関りのある機関・部署と連携し、児童虐待の進行予防や対応を行いました。【子ども家庭課】 児童生徒の生命を守ることを最優先に考え、関係機関との連携強化を図りました。【指導課】	課題解決のための改善策					関係課と共に訪問支援を行うなど、家族全体を支援し、情報共有を行いながら必要なサービス等を導入しました。【障害者支援課】 児童虐待に対応するため、要保護児童対策地域協議会に出席し、地域住民や医療機関、また児童相談所、警察等の関係機関との連携の強化を図り、支援体制の構築に努めます。【健康増進課】 子育てに不安を抱える保護者の相談が迅速かつ適切に対応できるよう関係機関と連携、役割分担を図ります。【児童発達支援センター】 関係機関等へ要保護児童対策地域協議会の活動理解を深め、児童虐待に対して迅速な対応が行なえるよう努めます。また、個別支援会議を積極的に活用し、関係機関との連携を強化します。【子ども家庭課】 今後も関係機関と情報を共有しながら、迅速に対応し、連携をさらに深めることにより、適切な対応ができるように努めます。【指導課】							
これまでの課題	子どもへの支援だけでなく、障害等が見込まれる家族等の継続的な支援が必要な場合が多く、家族全体の支援方針の共有が必要で。【障害者支援課】 児童虐待の対応件数は増加傾向にあるため、今後も関係機関と連携をし、迅速かつ適切に支援を行う必要があります。【健康増進課】 連絡調整が必要なケースが年々増加しています。【児童発達支援センター】 要保護児童対策地域協議会の活動理解が乏しく、児童虐待の通告や連携に時間を要することがあります。【子ども家庭課】 児童生徒の生命を守るために、学校、関係機関との連携を図りながら迅速に対応する必要があります。【指導課】	R5からR6年度の取り組み					継続して会議等に出席し、対象児童等に関する情報や支援方針を確認するとともに、連携して支援できる体制の維持に努めます。【障害者支援課】 引き続き医療機関や児童相談所、警察等の行政機関との連携の強化を図り、早期に支援へつなげる体制づくりに努めます。【健康増進課】 今後も関係機関との連携を図りながら情報共有を図り、迅速かつ効果的な対応ができるように努めます。【児童発達支援センター】 関係機関の会議等に積極的に参加し、要保護児童対策地域協議会の機能や役割について周知を図ると共に、民生児童委員、主任児童委員などの地域住民や医療機関、また児童相談所、警察等の関係機関との連携の強化を図ります。【子ども家庭課】 今後も関係機関と情報を共有しながら、迅速に対応し、連携をさらに深めて適切な対応に努めます。【指導課】 定例で開催される要保護児童対策地域協議会実務者会議にて各関係機関と情報交換、連携を図ります。【保育課】							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
★120	社会的養育の推進 (子ども家庭課)	虐待等の様々な事情により保護者と暮らすことができない子どもを、できる限り家庭的な環境で養育するため、県と連携し里親制度の普及・啓発を行います。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
啓発活動の実施		2	2	↑	↑	↑								
R4年度の現状	10月の里親啓発月間には広報紙へ掲載、11月の児童虐待防止啓発月間には児童虐待防止の啓発パネル展示と共に、里親啓発のポスター掲示を行いました。					課題解決のための改善策	引き続き、10月の里親啓発月間には広報やポスター掲示により、里親制度の普及・啓発活動を行います。							
これまでの課題	里親制度について、積極的な普及・啓発活動を行い、里親制度に関する理解を深める必要があります。					R5からR6年度の取り組み	広報やポスター掲示等により里親制度の普及・啓発活動に努めると共に、千葉県等の啓発活動等に協力し、啓発に努めます。							
(2)ひとり親家庭への支援の充実														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
121	ひとり親家庭相談 (子ども家庭課)	母子父子自立支援員の専門性のスキルアップを図り、ひとり親家庭の悩みを解決し、自立を図られるよう母子・父子自立支援員等による相談を実施します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
相談件数		913	964	→	→	→								
R4年度の現状	母子・父子自立支援員が、児童扶養手当の申請時等に、ひとり親家庭の相談に対応し、自立を支援しました。また、ハローワークと連携し、職業相談・職業紹介など就労支援を行いました。					課題解決のための改善策	母子父子自立支援員の質の向上のため、千葉県等の研修に参加します。							
これまでの課題	安心して相談できるようにするため、母子父子自立支援員の質を向上する必要があります。					R5からR6年度の取り組み	引き続き、ひとり親家庭の悩みを解決し、自立を図られるよう母子・父子自立支援員等による相談を実施します。また、千葉県が主催する研修等に参加し、母子父子自立支援員の専門性のスキルアップを図ります。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
122	母子家庭等就労促進費用の 助成(子ども家庭課)	母子家庭及び父子家庭の自立のために、就職に役立つ技術や資格取得のための一定の講座受講料の一部を助成するとともに、1年以上資格取得のための養成機関に在籍する場合に、4年間を限度として毎月一定額の給付金を支給します。また、安定した就業と自立のために高卒程度認定試験の合格を目指すひとり親家庭を対象として学び直し及び就労を支援するための給付金を支給します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
R4年度の現状		母子家庭及び父子家庭の自立のために、就職に役立つ技術や資格取得のための一定の講座受講料の一部を助成しました。(自立支援教育訓練給付金)また、1年以上資格取得のための養成機関に在籍する場合に、毎月一定額の給付金を支給しました。(高等職業訓練促進給付金)					課題解決のための改善策	母子家庭等就労促進費用の助成について、ホームページや現況届の通知等を活用し、周知をはかっていきます。						
これまでの課題	母子家庭及び父子家庭の自立のために、就職に役立つ技術や資格を取得するための助成があることを周知する必要があります。					R5からR6年度の取り組み	母子家庭や父子家庭の自立支援及び就労促進のために、引き続き実施します。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
123	ひとり親家庭等生活上事業 (子ども家庭課)	ひとり親家庭等であり、所得が少ない家庭の子どもに学習支援を行うことによって、経済的格差及び教育格差の解消を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
利用者数		115	122	↑	↑	↑	学習の習慣がついたと回答した児童数(%)			68.2	58.6	↑	↑	↑
協定塾数		65	64	↑	↑	↑	希望通りの高校に進学できたと回答した児童数(%)			77.3	82.8	↑	↑	↑
R4年度の現状	対象者を中学校2年生及び中学校3年生とし、生活保護世帯、ひとり親世帯の子ども等の学習環境の整備に努めました。					課題解決のための改善策	令和4年度から、毎月の支援に加えて、夏期及び冬期の追加支援を行います。また、引き続き、子どもの学習支援について、ホームページや現況届時を活用し、周知をはかっていきます。							
これまでの課題	子どもの学習支援を利用してもらうために、周知する必要があります					R5からR6年度の取り組み	引き続き児童扶養手当現況時に直接、周知・案内を行い、利用促進を促すことで、利用者の増加をはかり、学習環境の整備に努めます。							

(3)障害のある子どもがいる家庭への支援の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標						令和4年度評価					
124	相談体制の充実 (障害者支援課・児童発達支援センター)	【障害者支援課】障害を持つ児童の家族からの各種相談について、関係機関と連携を図りながら相談体制の充実に取り努めます。また、障害児相談支援事業を実施し、障害児のサービス等利用計画を適正に作成できるよう体制を整備します。 【児童発達支援センター】相談支援サービスを利用希望している方の受け入れができるように体制を整備します。						A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
障害児相談支援事業所数【障害者支援課】		14	14	15	16	17	障害児支援利用計画作成者数【障害者支援課】		509	609	550	600	650
障害児相談支援専門員(配置数)【児童発達支援センター】		3	3	→	→	→	障害児相談支援(計画相談実施件数)【児童発達支援センター】		544	601	→	→	→
R4年度の現状	障害児相談支援事業所数は増加しませんでした。既存事業所での相談支援専門員数が増加し、計画作成者数は増加しています。しかしながら、依然としてサービス利用者数の増加は続いています。【障害者支援課】療育を利用するお子さんが増加している為、障害児相談支援を利用希望する方も増加しています。【児童発達支援センター】						課題解決のための改善策		継続して既存の障害児通所事業所及び新規参入の事業者による障害児相談支援の実施について呼びかけ、事業実施を支援します。また、医療的ケア児等コーディネーターを配置し、医療的ケア児への相談支援を実施します。【障害者支援課】電話回線を1台増やし、効率的に相談業務ができるようにしました。その結果、相談員1人あたりの担当件数を増やすことができました。【児童発達支援センター】				
これまでの課題	利用者数の伸びは著しく、計画作成数は増加していますが、セルフプラン率は減少していません。また、医療的ケアが必要な子どもに関する相談支援に対応する事業所が必要です。【障害者支援課】相談支援専門員1人あたりの担当件数が増加傾向にあり、受けられないケースが出てきています。【児童発達支援センター】						R5からR6年度の取り組み		市民の児童発達支援センターについて継続して協議を行います。また、市内事業所に医療的ケア児等コーディネーターを配置し、医療的ケア児等への相談支援を実施します。【障害者支援課】利用者のニーズに応えられるように相談支援専門員の増員に向けて、相談支援従事者初任者研修に参加していきます。【児童発達支援センター】				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標						令和4年度評価					
125	就学相談・指導 (指導課)	就学前児、就学児(小中)を対象に相談を受け面接をし、一人ひとりの個性や能力を伸ばすための適切な就学先の提供に努めます。また、医療、療育施設、福祉施設、保幼小中、特別支援学級と連携を図り、保護者への情報提供も行います。						A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
就学相談件数		413	401	→	→	→	面談を重ね、本人・保護者の願いに添った就学支援につなげた割合		100	100	100	100	100
R4年度の現状	就学前児、就学児(小中)を対象に、一人ひとりの個性や能力を伸ばすための適切な就学先の提供に努めました。						課題解決のための改善策		令和4年度より実施している流山市就学説明会には昨年度を超える人数の方が参加されました。説明会の中で、保護者に担当職員を紹介することで安心して就学相談を受けていただけるようにしました。				
これまでの課題	児童生徒の増加や教育的ニーズの多様化に伴い、相談件数が増加しているため、スムーズな就学相談を行っていくことが課題です。						R5からR6年度の取り組み		今後も、医療、療育施設、福祉施設、保幼小中、特別支援学校と連携を図り、保護者に情報提供を行っていくよう、連携を深めていきます。				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標						令和4年度評価					
★126	療育指導・機能訓練 (障害者支援課・児童発達支援センター)	【障害者支援課】障害のある児童の自立のため、障害児通所支援事業により、障害児相談支援、児童発達支援、保育所等訪問支援及び放課後等デイサービスなどの事業を実施します。 【児童発達支援センター】集団・個別療育、機能訓練を実施していきます。						A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
障害児通所支援事業所数【障害者支援課】		33	43	34	35	36	障害児通所支援事業所延べ利用者数【障害者支援課】		10,076	12,641	10,500	11,000	11,500
PT(理学療法)・OT(作業療法)訓練 外来実人数【児童発達支援センター】		55	87	55	80	→	PT(理学療法)・OT(作業療法) 延べ利用人数【児童発達支援センター】		701	948	700	940	→
外来療育実人数【児童発達支援センター】		14	6	15	→	→	外来療育延べ利用人数【児童発達支援センター】		139	58	150	→	→
R4年度の現状	利用者数及び事業所数ともに増加しており、療育支援が必要な児童に対し、個別または集団でのサービス提供を行い、自立に向けた支援を行いました。また、地域の関係者が集まり協議する地域自立支援協議会にこども部会を設置し、障害児を取り巻く課題の共有及び検討を行いました。【障害者支援課】(PT・OT)令和3年度に引き続き、感染対策を行いながら児童の運動発達を促すことや感覚運動機能の向上を図りました。PT・OT共に希望者が増加し、リハビリの枠を増設しました。(外来療育)令和3年度に引き続き、感染対策を行いながら児童の全体的な発達を促す支援を行いました。また、親子で通うことで、お子さんとの関わり方や保護者同士のつながりなど、保護者支援を行いました。【児童発達支援センター】						課題解決のための改善策		保育所等訪問支援のスムーズな連携体制に関する協議を継続して行います。また、医療的ケア児や重症心身障害児の支援について、こども部会において課題を整理し支援体制について関係機関等と協議を行います。【障害者支援課】(PT・OT)機能訓練室以外の空き部屋を利用するようにし、希望時間が重なった場合のニーズに応えられるようにします。(外来療育)対象児童の年齢を1歳児以上に広げ、受け入れる範囲を広げます。【児童発達支援センター】				
これまでの課題	保育所等訪問支援の利用者増加に伴い、市内サービス事業者や関係機関と協議し、スムーズな連携体制について検討が必要です。また、医療的ケア児や重症心身障害児への支援できる事業所が不足しています。【障害者支援課】(PT・OT)希望者が増加したことでリハビリの枠を増設しましたが、希望時間が重なることが多く、部屋の不足が課題となっています。(外来療育)受給者証を取得し児童発達支援を利用する方が増えているため、療育を使う前段階を目的とした外来療育を希望する方が年々減少している状況です。【児童発達支援センター】						R5からR6年度の取り組み		療育が必要な児童に対するサービス提供体制を維持するとともに、重層的な地域支援体制の構築のため継続して検討していきます。【障害者支援課】支援を必要としている方を受け入れられるよう、個別、集団の支援を継続していきます。親子で通う中で、お子さんとの日々の関わりを充実できるように支援していきます。【児童発達支援センター】				

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
127	在宅介護サービス(障害者支援課)	障害児を抱えている母親の疾病等在宅介護が必要であると判断された場合は、ホームヘルパーの利用により支援します。										AⓐBⓐCⓐD		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
在宅介護を決定している障害児数		14	13	15	15	15	在宅介護の利用日数(障害児)			1,357	1,225	1,400	1,400	1,400
R4年度の現状	医療的なケアが必要な児童や支援が必要な保護者などへ、家族の介護負担軽減のためヘルパー派遣を行いました。					課題解決のための改善策		相談支援専門員が行うモニタリングを通じ、サービス提供状況を把握し、対象児童の状況に応じて支援内容を見直していきます。						
これまでの課題	相談支援専門員と連携や情報共有を行い、必要な支給量や支援内容についての把握が必要です。					R5からR6年度の取り組み		医療的ケア児等コーディネーターを配置し、在宅の医療的ケア児への支援について相談支援専門員と連携を図り、適切なサービス導入や家族の負担軽減を図ります。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
128	特別支援教育の推進(指導課)	特別支援教育コーディネーターを招集し、コーディネーターとしての資質の向上のため、特別支援教育推進研修会を行います。また、特別支援学級(知的・情緒・言語・難聴)の担任、通級指導教室(言語・難聴)の担当者の研修会も行います。										AⓐBⓐCⓐD		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
特別支援推進研修会 研修回数		3	3	3	3	3	研修会参加対象者数			26	27	27	27	28
特別支援学級(知的・情緒)研修会 研修回数		5	5	5	5	5	研修会参加対象者数			88	98	98	→	→
特別支援学級(言語・難聴)研修会 研修回数		5	5	5	5	5	研修会参加対象者数			9	9	8	→	→
R4年度の現状	大学教授や特別支援学校のコーディネーターや言語聴覚士(ST)など、様々な分野の講師を招聘し、それぞれの障害種に適した研修を実施しました。					課題解決のための改善策		希望者が参加できるようにオンラインでの研修を実施したり、大学や他機関が開催する研修について情報提供を行います。今年度より、流山市スーパーバイザーを市独自で雇用し各学校の巡回指導を実施しています。						
これまでの課題	特別支援学級が増加傾向にあり、研修は各校代表教員の参加としました。参加人数が限られていました。					R5からR6年度の取り組み		研修の内容を更に充実させ、さらなる障害種に応じた専門性の向上を図っていきます。流山市スーパーバイザーの巡回指導を充実させていきます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
★129	居宅訪問型児童発達支援(児童発達支援センター)	通所による児童発達支援の利用が難しい障害児の居宅を訪問し療育支援を実施します。										AⓐBⓐCⓐD		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
居宅訪問型児童発達支援利用実人数		0	0	1	→	→	延べ利用人数			0	0	12	→	→
R4年度の現状	令和元年度から新規事業として加え、サービスを必要とする方に周知を行いましたが、通所による支援を希望される保護者が多く、利用者はいませんでした。					課題解決のための改善策		サービスを必要とする方に適切な情報が届けられるよう関係機関との連携を図っていきます。また、相談支援の中でサービス利用につなげていくように努めます。						
これまでの課題	通所できるようになった時期に相談につながり、小さいうちは在宅で支援に繋がっていないケースもありました。色々な支援の形があることを、関係機関に周知していくことは今後必要です。					R5からR6年度の取り組み		今後も関係機関への周知を図り、外出することが困難なお子さんの生活能力向上のために必要な支援を行っていきます。						
(4)子どもの貧困対策の推進														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和4年度評価		
130	子どもの貧困対策(子ども家庭課)	生活保護世帯、ひとり親世帯の子どもへの学習支援や日常生活を身に付けるための支援を行い、地域による子ども食堂等による支援と連携して、子どもが健全に育成される環境を整えながら、子どもの貧困の連鎖の防止に向けた取り組みを行います。										AⓐBⓐCⓐD		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R4目標	R5目標	R6目標
R4年度の現状	児童扶養手当の現況時に、ひとり親家庭支援制度に関するアンケートを実施し、学習支援対象者の拡大を希望する声が多かったため、拡大に繋げることができました。					課題解決のための改善策		子どもの貧困についてのアンケート等を実施するために、アンケート項目等を研究していきます。						
これまでの課題	子どもの貧困についてのアンケート等を実施し、実態を把握する必要があります。					R5からR6年度の取り組み		引き続き、子どもが健全に育成される環境を整えながら子どもの貧困の連鎖の防止に向けた取り組みを行います。						